

成和東小学校他2校プール施設改修工事 (成和東・依那古・神戸)

特記	工事名 成和東小学校他2校プール施設改修工事			承認	管理建築士	印
	図名 表紙	縮尺 NS	図面番号 A-00			
				図面提出日		

成和東小学校

図面リスト

No.	図面名称	No.	図面名称
A-00	図面リスト	M-01	特記仕様書
A-01	改修工事特記仕様書 1	M-02	図示記号・衛生器具表
A-02	改修工事特記仕様書 2	M-03	平面詳細図 給排水衛生設備
A-03	改修工事特記仕様書 3		
A-04	配置図兼仮設計画図		
A-05	平面図		
A-06	平面詳細図・立面図 1		
A-07	平面詳細図・立面図 2		
A-08	断面詳細図		

特記	工事名 成和東小学校他2校プール施設改修工事			承認				管理建築士	印
	図名 (成和東小学校) 図面リスト	縮尺 NS	図面番号 A-00						

工事特記仕様書(改修)

Table with 2 columns: Item (I. 工事名称, II. 工事概要, 1. 工事場所, etc.) and Content (成和東小学校他2校プール施設改修工事, etc.)

- III. 建築改修工事仕様
1. 共通仕様
2. 特記仕様
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
(3) 項目欄に記載の()内表示番号は改修仕様の該当項目等を示す。

Main specification table with columns: Item (1. 適用基準等, 2. 施工条件, etc.), Particular Items (特記事項), and detailed descriptions of construction standards and requirements.

Table with 2 columns: Item (1.1 調査のための破壊部分の補修, 1.2 建築材料等, etc.) and Content (補修方法, 1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とするほか「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」(最新版) (以下「評価名簿」という。))と同等とする。品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先利用に努めること。)

Table with 2 columns: Item (2.8 工事の一時中止, 2.9 建築基準法に基づき定まる風圧及び積雪荷重, etc.) and Content (工事の一時中止の取り扱いについては「工事の一時中止のガイドライン(案)」(平成27年6月 国土交通省)による。三重県建設工事契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画(以下「基本計画書」という。))を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。)

④ 外壁改修工事

1 施工数量調査

行う ・ 行わない
調査範囲 ・ 全面 ・ ()
調査項目 ・ ひび割れ部 (・ 幅0.2mm ・ 0.2mm~1.0mm ・ 1.0mm以上)
・ ひがれ及びはく落部分
・ 浮き部
調査方法 ・ 打診、目視及びクラックスケール等 (・ 足場 ・ ゴンドラ)
報告書 2部 (立面図等に記載、必要に応じて写真添付)

2 改修工法の種類 (4.1.4) (4.1.5)

外壁	種類	改修工法
・ コンクリート打放し 仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法
	欠損部	・ 充填工法
・ モルタル塗り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法
	欠損部	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法
・ モルタル塗り仕上げ外壁	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法
	目地	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法
・ タイル張り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法
	目地	・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法
・ 塗り仕上げ外壁	目地	・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ・ 複層仕上塗材塗り ・ 可とう形改修用仕上塗材塗り ・ 各種塗料塗り ・ マスチック塗料塗り
	新規仕上げ	

3 改修工法等 (4.2.2) (a) (4.3.4) (4.4.5) (4.5.5)

・ 樹脂注入工法
種類 ・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
注入量 () 注入間隔 ()
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法
注入量 () 注入間隔 ()
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法
注入量 () 注入間隔 ()
材料 エポキシ樹脂 JIS A6024 (建築補修用注入エポキシ樹脂)
低粘度形 ・ 中粘度形
コア採取検査 ・ 行う ・ 行わない
・ 抜取り回数 ()
・ 抜取り部分補修方法 ()

(4.2.2) (b) (4.3.5) (4.4.6) (4.5.6)

・ Uカットシール材充填工法
材料 ・ シーリング用材充填 (・ PU-1 ・ PU-2 ・ ())
・ 可とう性エポキシ樹脂充填
シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填
・ 行う ・ 行わない

(4.2.2) (c) (4.3.6) (4.4.7)

・ シール工法
材料 ・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

(4.2.2) (d) (4.3.7) (4.4.8)

・ 充填工法
材料 ・ エポキシ樹脂モルタル
・ ポリマーセメントモルタル

(4.2.2) (e) (4.4.9)

・ モルタル塗替え工法
材料 ・ 既製目地材の適用及び形状 ()
仕上げ厚 ()

(4.2.2) (e) (4.4.10) (図4.4.1)

・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
アンカーピンの本数 ・ 標準 ・ ()
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ()

(4.2.2) (e) (4.4.11) (図4.4.2)

・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ()
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ()

(4.2.2) (e) (4.4.12) (図4.4.2)

・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ()
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ()

(4.2.2) (f) (4.4.13) (図4.4.3)

・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
注入口付アンカーピンの本数 ・ 標準 ・ ()
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ()
呼び径 ・ 6mm ・ ()

(4.2.2) (f) (4.4.14) (図4.4.4)

・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
注入口付アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ・ ()
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ()
呼び径 ・ 6mm ・ ()

(4.2.2) (f) (4.4.15) (図4.4.4)

・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
注入口付アンカーピンの本数及び注入口の配置 ・ 標準 ・ ()
材料 ・ ポリマーセメントスラリー ()
・ 注入口付アンカーピン (・ ステンレス鋼 (SUS304) ・ ())
呼び径 ・ 6mm ・ ()

(4.2.2) (h) (4.5.7)

・ タイル部分張替え工法
材料 ・ ポリマーセメントモルタル

・ 変成シリコン樹脂、エポキシ樹脂、ポリウレタン樹脂

施工箇所	形状寸法	工法	用途による区分	区分			役物	標準・特注色	耐凍害性有無
				I類(磁器)	II類(せつ瓷)	III類(陶器)			

・ 役物 (・ 一体成形 ・ 接着加工)
・ 試験張り ・ 行う ・ 行わない
・ 見本焼き ・ 行う ・ 行わない

(4.2.2) (h) (4.5.8) (表4.5.4)

タイルの種類	タイルの大きさ	工法	塗り厚(mm)
・ 外装 タイル	小口以上二丁掛け以下	・ 密着張り	5~8
		・ 改良積み上げ張り	4~7
・ ユニットタイル	・ 25mm角を越え小口未満 ・ 小口未満	・ 改良圧着張り	下地側 4~6 タイル側 3~4
		・ マスク張り	3~4
		・ モザイクタイル貼り	3~5

(4.5.15)

・ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法
注入口付アンカーピンの本数 (本)

(4.2.2) (h) (4.5.16)

・ 目地ひび割れ部改修工法
・ 伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地
(位置 寸法 ×)
検査 シーリング接着性試験
・ 行う (・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験)

4 塗り仕上げ (4.2.2) (i) (表4.2.4(その1) (その2))

種類	呼び名	仕上げ形状	工法
薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材E	・ 砂壁状	吹付け
		・ 砂壁状	吹付け
厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C	・ 砂壁状	吹付け
		・ 砂壁状	吹付け
複層仕上塗材	・ 外装厚塗材SI ・ 外装厚塗材E	・ 砂壁状	吹付け
		・ 砂壁状	吹付け
可とう形改修用仕上塗材	・ 可とう形改修塗材E ・ 可とう形改修塗材RE ・ 可とう形改修塗材GE	・ 平たん状	ローラー
		・ 砂壁状	吹付け

・ 外装厚塗材Cの上塗材がセメントスタッコ以外の場合
材所要量 (kg/m²)

・ マスチック塗料塗り ・ A種 ・ B種
仕上材塗り ()

(4.7.2) (表4.7.1)

(表4.2.5)

樹脂種類	溶媒種類		外 観	
	溶剤系	水系	艶有	艶無
・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無
・ シリカ系	・ 溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無
・ ポリウレタン系	・ 溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無
○ アクリル	・ 溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無
シリコン系	・ 溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無
・ ふっ素系	・ 溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無

(注) 艶無及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。

(4.6.3)

既着塗膜等の除去及び下地処理

工法	処理範囲
・ サンダー工法	
・ 高圧水洗工法	
・ 塗膜はく剝離工法	
・ 水洗工法	
・ デッキブラシ	
○ 高圧ポンプ	

(4.6.4)

下地調整
・ G-1 ・ G-2 ・ CM-2 ・ E ・ ()

(4)

モルタル塗り (6.15.3)

既製目地材 ・ 使用する (形状:)
床の目地 ・ 図示 (図面番号:)

(1B)

タイル張り (6.16.2) (6.16.3)

伸縮調整目地
位置 ・ 図示 (図面番号:)

タイルの種類

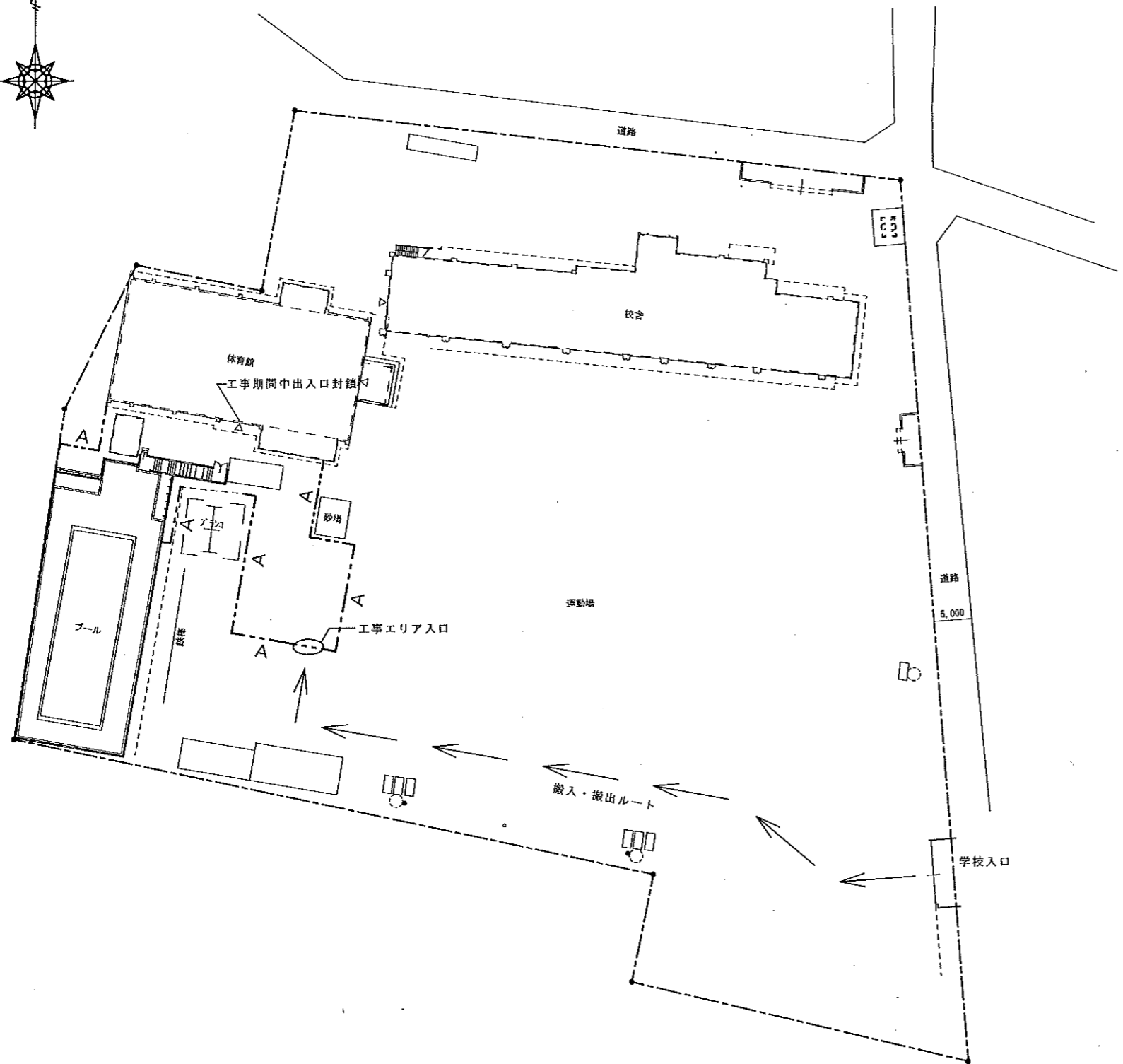
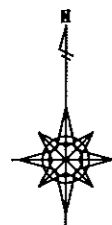
施工箇所	形状寸法	工法	用途による区分	すべり抵抗性	区分			役物	標準・特注色	耐凍害性有無
					I類(磁器)	II類(せつ瓷)	III類(陶器)			
手洗いシンク	25角				○			○		○

(6.16.3) (b) (1)

試験張り ・ 行う ・ 行わない
見本焼き ・ 行う ・ 行わない

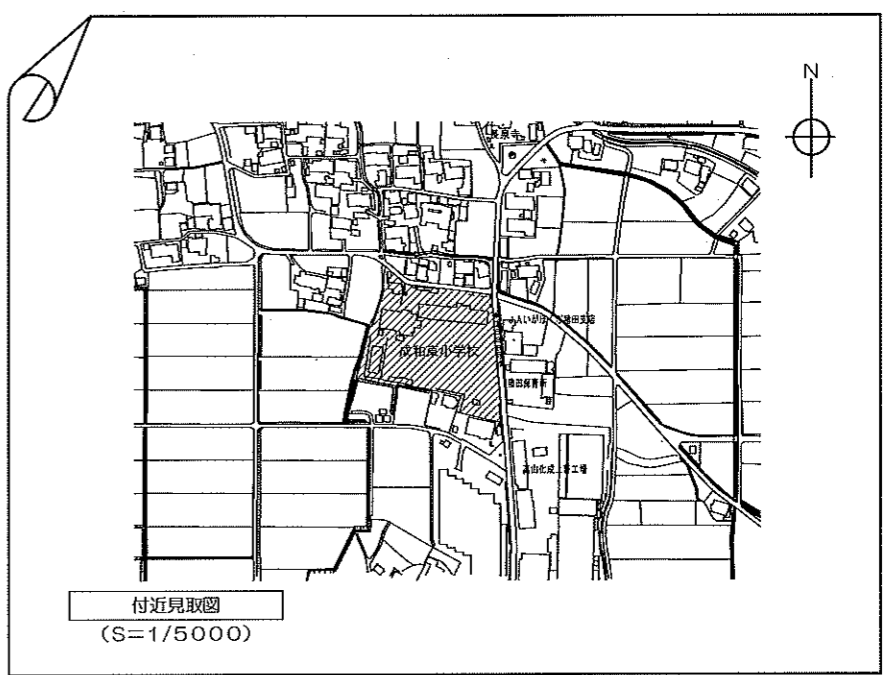
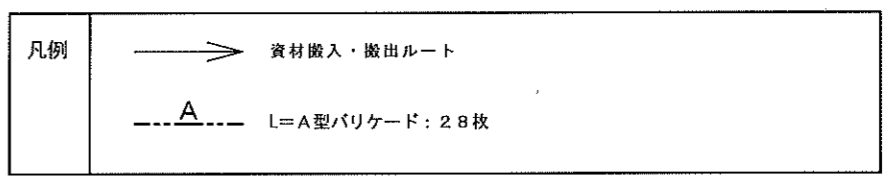
7 塗装 改修 工事	1 材料 (7.1.3) (b)	・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)	
	2 下地調整 (7.2.1~7.2.7) (表7.2.1)~ (表7.2.7)	既存塗膜の除去範囲(塗り替えでR/B種の場合) ・ 図示(図面番号:)	
		種別	
		下地	
		種別	
		ひび割れ部の補修	
		・ 木部	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種
		・ 鉄鋼面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種
		・ 亜鉛めっき鋼面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種
		・ モルタル、プラスター面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 ・ 行う
		・ コンクリート、ALCパネル面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 ・ 行う
		・ コンクリート、押出成形セメント板面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 ・ 行う
		・ せっこうボード、その他ボード面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種
3 錆止め塗料塗り (7.3.2) (7.3.3) (表7.3.3)~ (表7.3.4)	錆止め塗料種別 ・ 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種		
	錆止め塗料塗り種別		
	鉄鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種	
	亜鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種	
4 合成樹脂錆合ベ イント塗り(OP) (7.4.2) (7.4.3~7.4.5) (表7.4.1)~ (表7.4.3)	塗料種別 ・ 1種 ・ ()		
	種別		
	下地		
	種別		
	・ 木部	・ A種 ・ B種 ・ C種	
	・ 鉄鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種	
	・ 亜鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種	
5 クリヤラッカー 塗り(OL) (7.5.2) (表7.5.1)	種別 木部 ・ A種 ・ B種		
6 アクリル樹脂系 非水分散形塗料 (H4D) (7.7.2) (表7.7.1)	種別 ・ A種 ・ B種		
7 耐候性塗料塗り (DP) (7.8.2)~ (7.8.4) (表7.8.1)~ (表7.8.3)	上塗り等級 ・ 1級(フッ素系) ・ 2級(シリコン系) ・ 3級(ポリウレタン系)		
	下地		
	種別		
	鉄鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種	
	亜鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種	
	コンクリート面及び 押出成形セメント板面	・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種	
8 つや有合成樹脂 エマルジョンペ イント塗り (EP-G) (7.9.2)~(7.9.5) (表7.9.1)~ (表7.9.4)	種別		
	下地		
	種別		
	コンクリート、モルタル、 プラスター、せっこうボード、 その他ボード面	・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め()	
	木部(屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種	
	鉄鋼面(屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種	
	亜鉛めっき鋼面(屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種	
9 合成樹脂エマ ルジョンペイン ト塗り(EP) (7.10.2) (表7.10.1)	種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め()		
10 合成樹脂エマ ルジョン模様 塗料塗り (EP-I) (7.11.2) (表7.11.1)	種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種		
11 ウレタン樹脂 ワニス塗り (UC) (7.12.2) (表7.12.1)	種別 ・ A種 ・ B種		
12 ラッカーエナ メル塗り(LE) (7.13.2) (表7.13.1)	種別 ・ A種 ・ B種		
13 木造保護塗料 塗り(OP) (7.15.2) (表7.15.1)	種別 ・ A種 ・ B種		

8 の 5 耐 震 改 修 工 事	(あと施工アンカー)	種類 ○ 金属系 セットの方式 ○ 本体打込み式(・ 改良型 ○ 従来型) 径及び埋込み深さ ・ 図示(図面番号:) 引張耐力 ・ 図示(図面番号:) せん断耐力 ・ 図示(図面番号:) 接合部の種類・径・長さ ○ 図示(図面番号:)
	① あと施工アンカー の材料 (8.2.4) (表8.2.2)	・ 接着系 カプセル型回転 ・ 打撃式 ・ 有機系 ・ 無機系 径及び埋込み深さ ・ 図示(図面番号:) 引張耐力 ・ 図示(図面番号:) せん断耐力 ・ 図示(図面番号:) アンカー筋の種類 ・ 図示(図面番号:) アンカー筋の新設壁内への定着長さ ・ 図示(図面番号:) あと施工アンカーの性能確認試験 ・ 行う ・ 行わない
	② あと施工アンカー の施工 (8.12.2) (8.12.4) (8.12.5)	穿孔 埋込み配管等の探査の方法 ○ 鉄筋探知機(金属探知機)により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 ・ はつり出しによる。 ・ () あと施工アンカーの施工確認試験 ○ 実施する ・ 実施しない 確認試験方法 ○ 改修標準仕様書(8.12.5)による ・ () 確認強度 ・ ()
	(場所打ちコンクリート 壁の増設工事)	場所打ちコンクリート壁の打増部に用いる既存部とのシアコネクタ 種類 ・ 金属系あと施工アンカーの異形差筋アンカー ・ 接着系あと施工アンカーの異形差筋アンカー 径[mm] ・ D10 長さ[mm] ・ 増打壁厚-40 ・ () 影込み深さ[mm] ・ 5d(d: シアコネクタの径)以上 ・ () 間隔[mm] ・ 500×500 シアコネクタとセパレーターの兼用 ・ 兼用してもよい ・ 兼用しない ・ ()
	3 シアコネクタ	

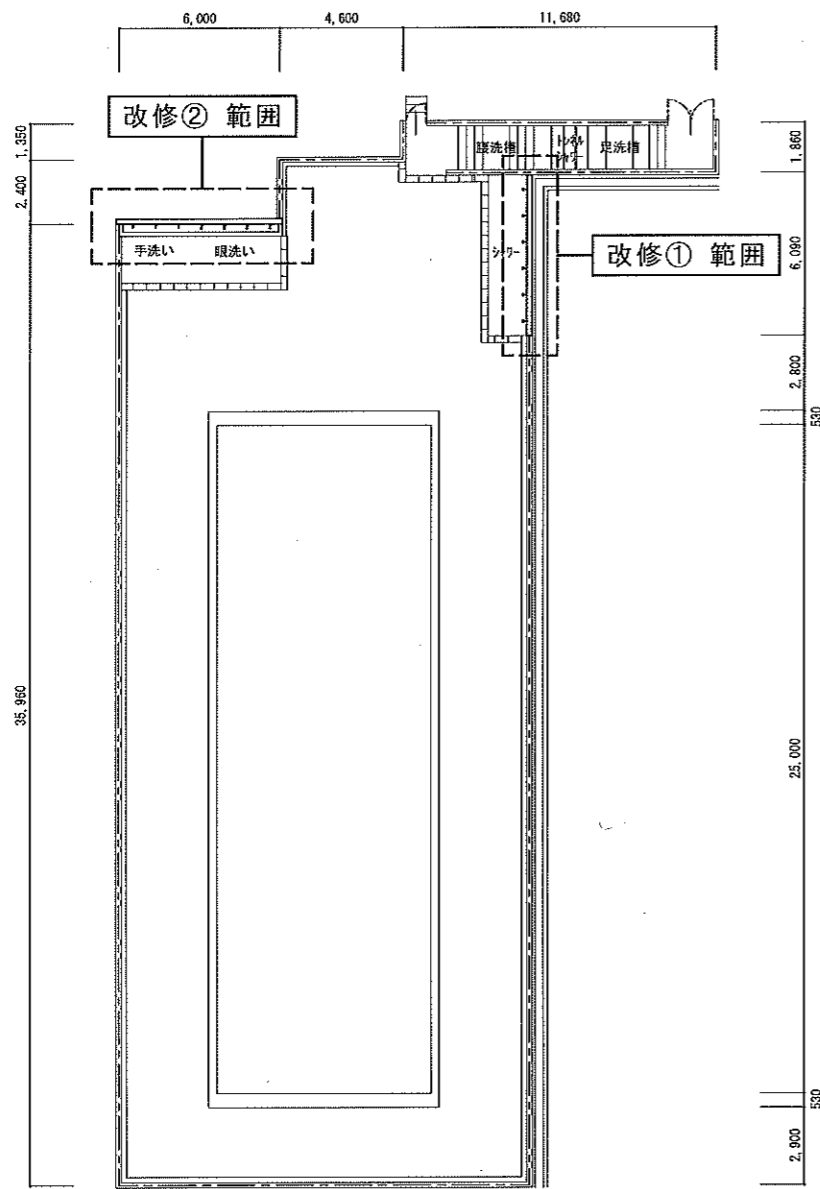


配置図兼仮設計画図 S=1/500

- 留意事項—
- ※1) 工事車両の進入は、8:40以降。
 - ※2) 休み時間(10:25~10:45)・昼休み・掃除時間(13:05~14:30)は、工事車両の通行はしない。
 - ※3) 校内は最徐行(10km/h以下)にて工事車両等は移動のこと。
 - ※4) 交通誘導員を配置している際は、学校入り口から工事エリア入り口まで交通誘導員が工事車両を誘導すること。
 - ※5) 必要に応じて適切な路面等の養生を行うこと。



特記	工事名	成和東小学校他2校プール施設改修工事			承認	管理建築士	印
	図名	(成和東小学校) 配置図兼仮設計画図	縮尺	1/500 (A2)			
					図面提出日		

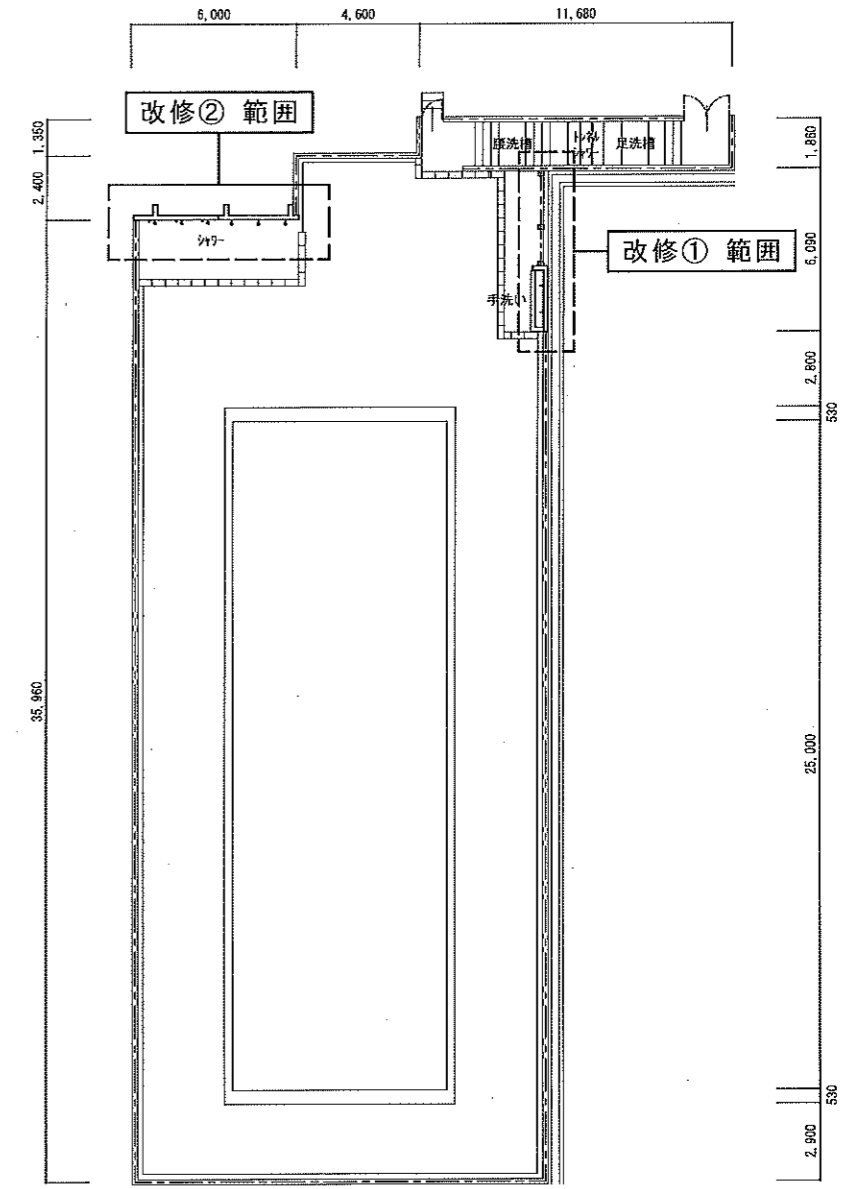


撤去概要

- ・ 改修範囲内の既存ブロック塀の撤去。
- ・ シャワー・手洗い・眼洗いの撤去。
- ・ 控え壁の新設に伴う土間コンクリートの撤去。

現況平面図 S=1/200

現況 → 改修



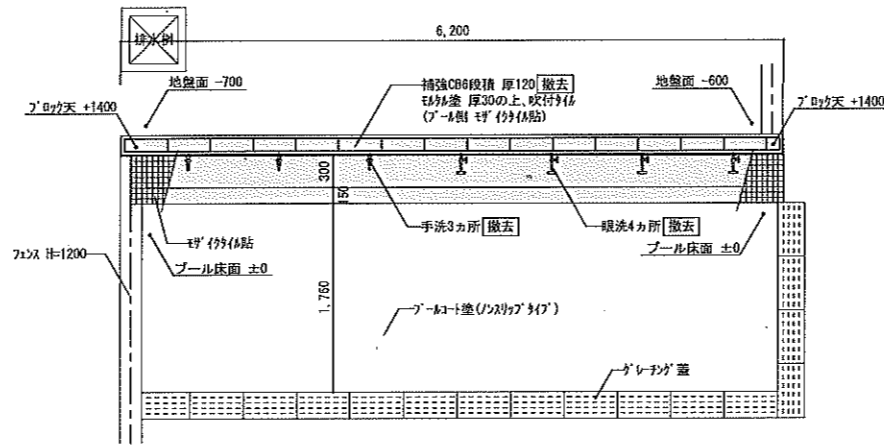
改修概要

- ・ 改修範囲内の既存ブロック塀の新設
- ・ シャワー・手洗いの新設。
- ・ 控え壁の新設と、それに伴う土間コンクリートの復旧。

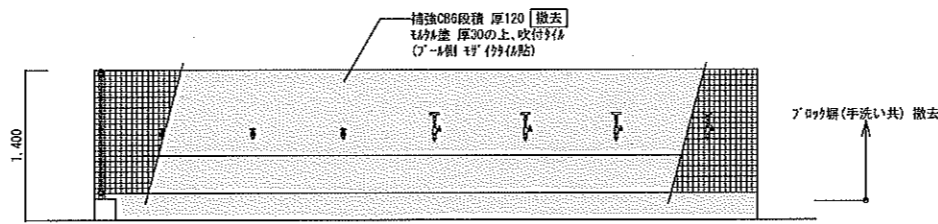
改修平面図 S=1/200

現況 → 改修

特記	工事名 成和東小学校他2校プール施設改修工事			承認	管理建築士	印
	図名 (成和東小学校) 平面図	縮尺 1/200 (A2)	図面番号 A-05	図面提出日		



改修② 現況平面詳細図 S = 1 / 50



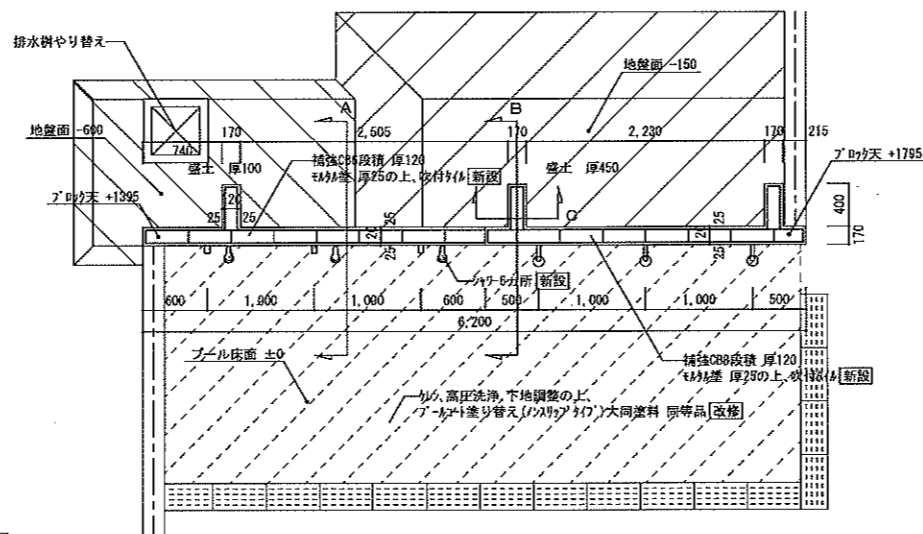
改修② 現況立面図 S = 1 / 50

<凡例>

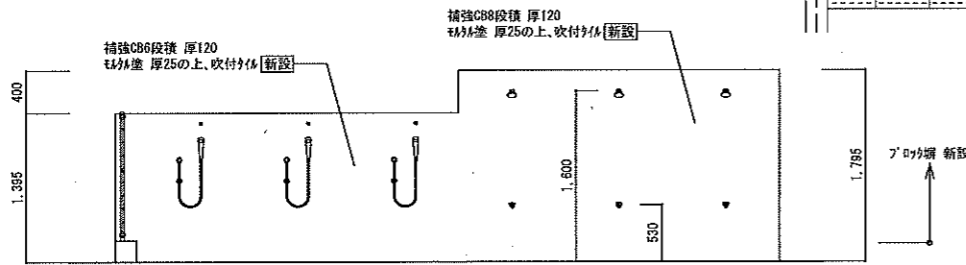
- 撤去範囲を示す。
- 土間切り切の上、撤去範囲を示す。
(コンクリート厚100 D10@250 タテヨコ共、
モルタル厚30 プールコート塗 (ノンスリットタイプ))

現況
↓
改修

現況
↓
改修

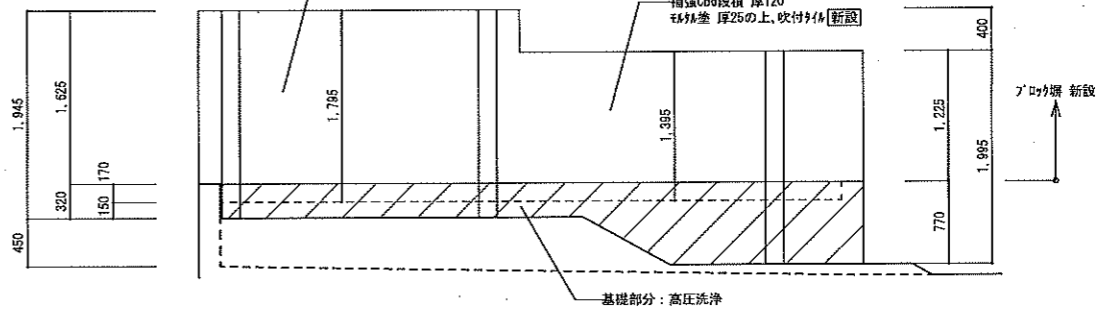


改修② 改修平面詳細図 S = 1 / 50



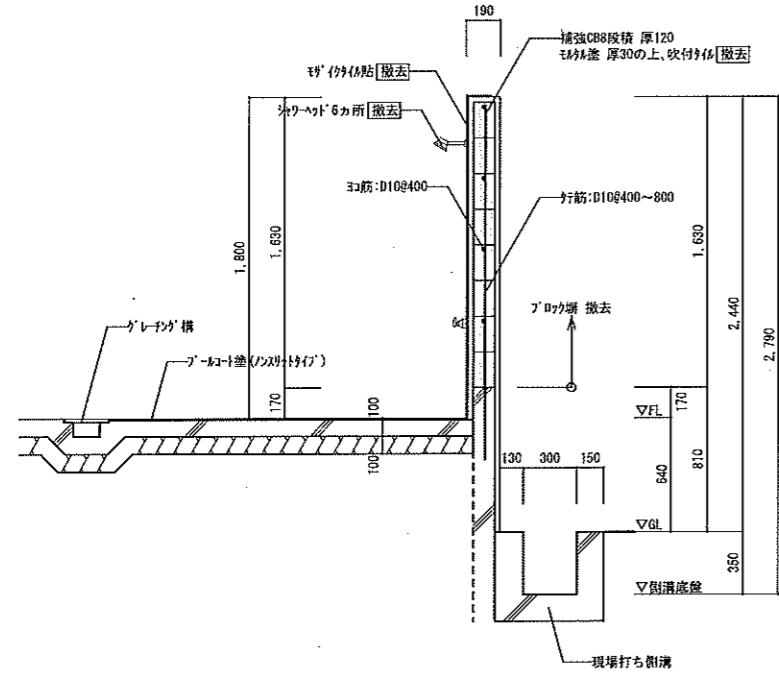
<プール側立面>

改修② 改修立面図 S = 1 / 50



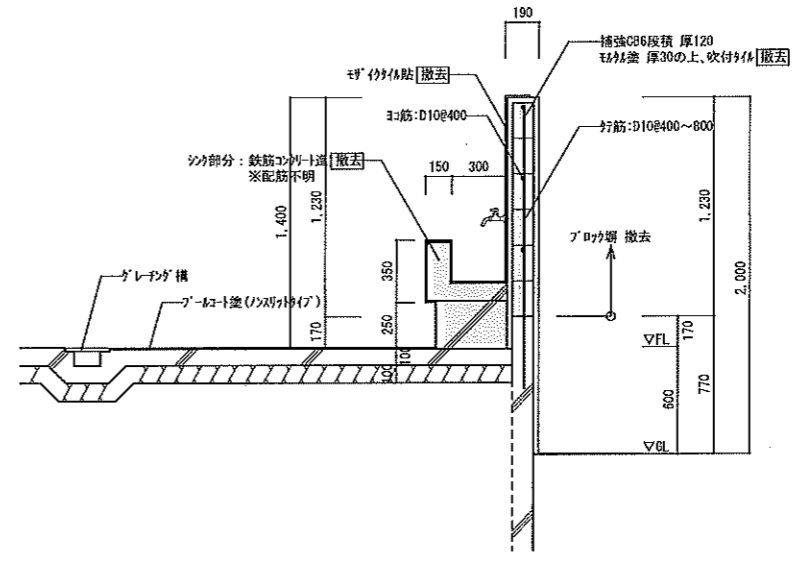
<プール裏側立面>

特記	工事名 成和東小学校他2校プール施設改修工事			承認	管理建築士	印
	図名 (成和東小学校) 改修② 平面詳細図・立面図	縮尺 1/50 (A2)	図面番号 A-07			
				図面製出日		



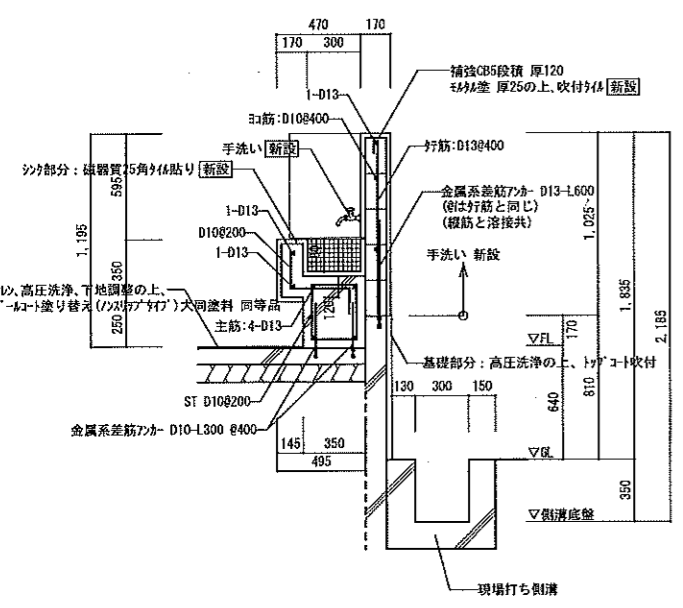
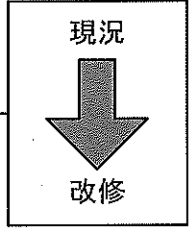
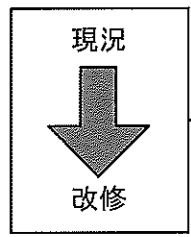
改修① 現況断面詳細図 S = 1 / 3 0

<凡例>
撤去範囲を示す。



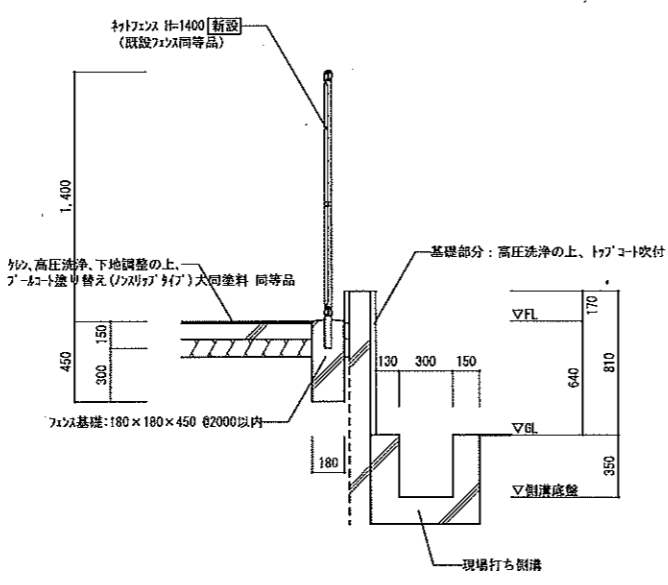
改修② 現況断面詳細図 S = 1 / 3 0

<凡例>
撤去範囲を示す。

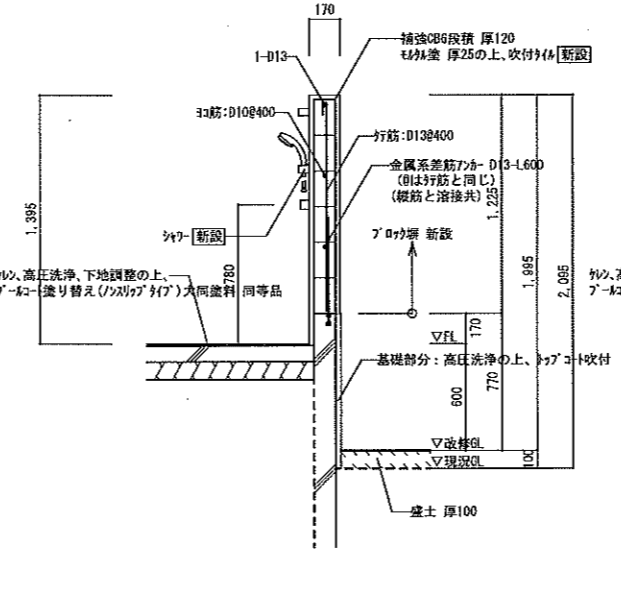


< A断面詳細図 >

改修① 改修断面詳細図 S = 1 / 3 0

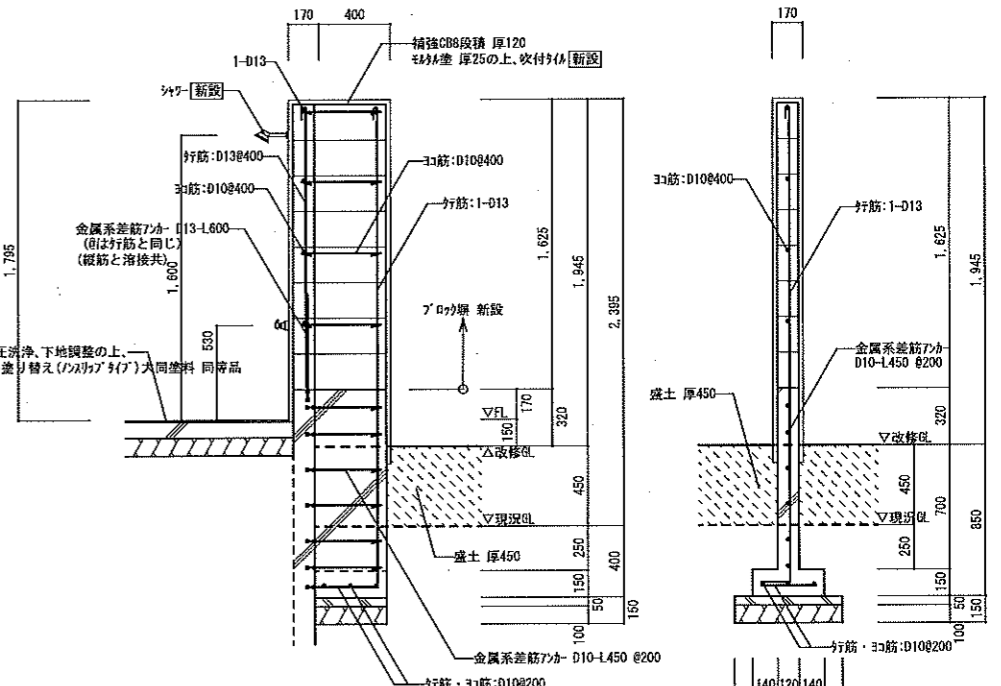


< B断面詳細図 >

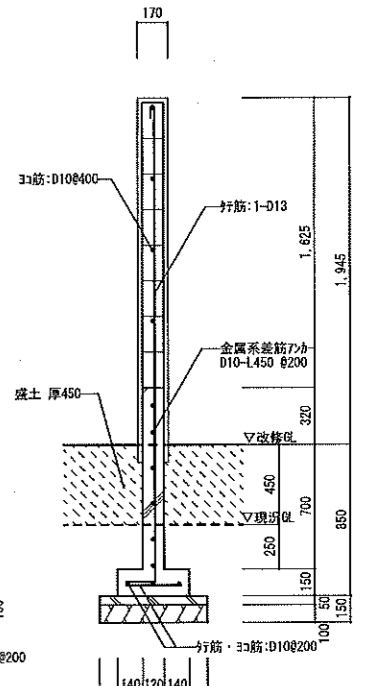


< A断面詳細図 >

改修② 改修断面詳細図 S = 1 / 3 0



< B断面詳細図 >



< C断面詳細図 >

特記	※金属系差筋7かとCB積の縦筋は溶接接合とする。	工事名	成和東小中学校他2校プール施設改修工事			承認	管理建築士	印
	※「セメント塗(ノリカゴ)付」は、大同塗料 同等品とする。		図名	(成和東小学校) 断面詳細図	縮尺			
製図		製図者		製図日		承認		
製図		製図者		製図日		承認		

図示記号

記号	名称
—	給水管
—	排水管
⊗	給水栓
⊕ ⊗ ⊙	弁類
⊖	床上掃除口
⊗	排水金物

衛生器具表

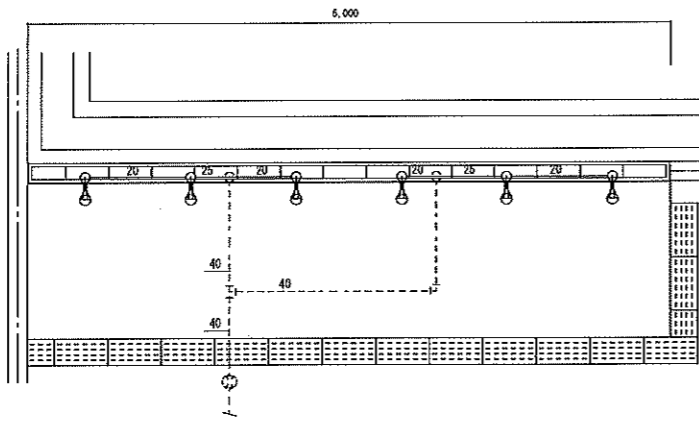
名称	品番	附属品	数量	単位
横水栓	LF-7R-13	吐水口回転形	2	2
固定シャワー	BF-4R	BF-2S-13(埋込形止水栓)	3	3
ハンドシャワー	BF-SC6A	BF-2S-13(埋込形止水栓) , BF-30R(フックx2ヶ)	3	3

*衛生器具型番は参考とし、監督員の指示(器具の調整等)に従うものとする。

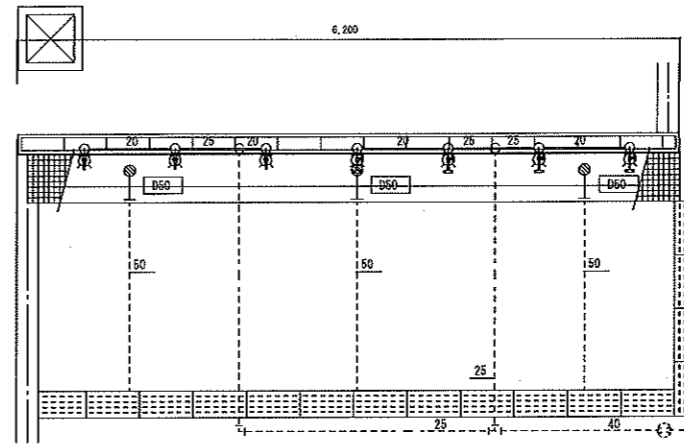
日付	工事名 成和東小学校他2校プール施設改修工事			管理棟築士	印
	図名	図尺	図面番号		
	(成和東小学校) 図示記号・衛生器具表	NS	M-02		
				設備員印	

凡例	今回撤去箇所を示す
	既存箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。
 既設埋設配管、今回工事に支障なきは既存放棄とする。
 (既設管永抜き処理の上、管末プラグ止め)
 土間及びブロックはつり撤去は建築工事とする。

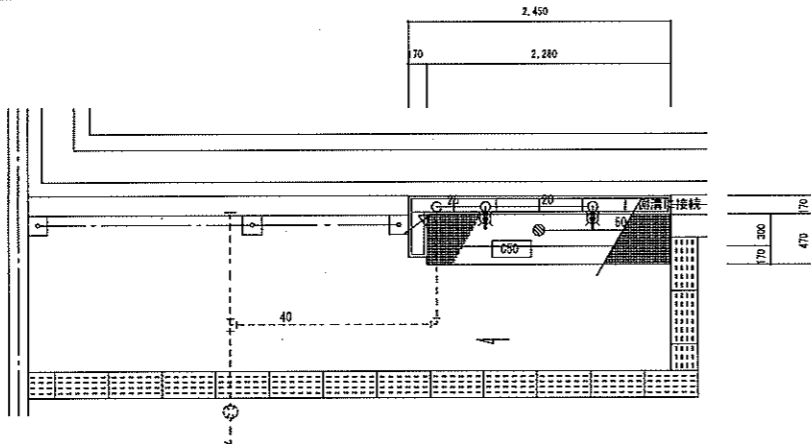
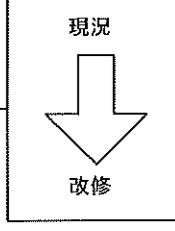
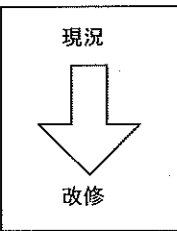


改修① 現況平面詳細図 S=1/50

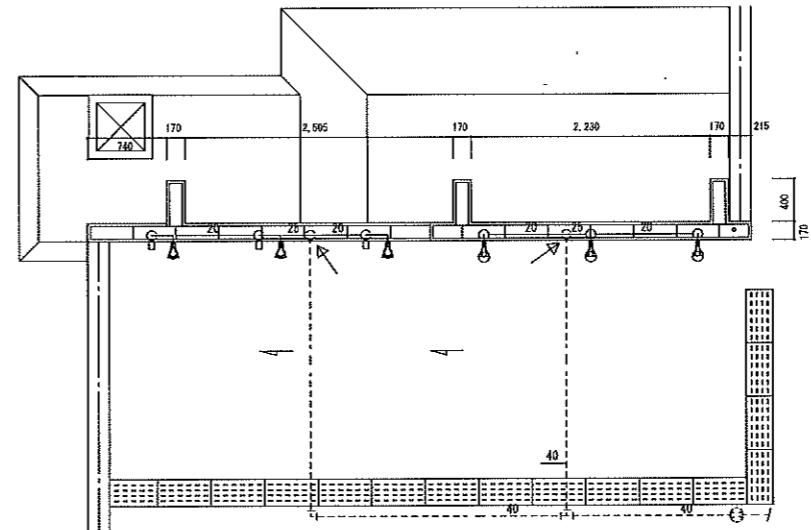


改修② 現況平面詳細図 S=1/50

外部 既存機器表			
単水栓		3	撤去
洗面水栓		4	撤去
シャワー水栓		5	撤去



改修① 改修平面詳細図 S=1/50



改修② 改修平面詳細図 S=1/50

凡例	今回改修箇所を示す
	既存箇所を示す
	既設接続箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。
 土間及びブロック復旧は建築工事とする。

特記	工事名	成和東小学校他2枚プール施設改修工事			承認	管理棟課長	印
	図名	(成和東小学校) 平面詳細図 給排水衛生設備	縮尺	1/50 (A2)			
	図面提出日						

依那古小学校

図面リスト

No.	図面名称	No.	図面名称
A-00	図面リスト	M-01	特記仕様書
A-01	改修工事特記仕様書 1	M-02	図示記号・衛生器具表
A-02	改修工事特記仕様書 2	M-03	平面詳細図 給排水衛生設備
A-03	改修工事特記仕様書 3		
A-04	配置図兼仮設計画図		
A-05	平面図		
A-06	平面詳細図・立面図		
A-07	断面詳細図		

特記	工事名 成和東小学校他2校プール施設改修工事			承認				管理建築士	印
	図名 (依那古小学校) 図面リスト	縮尺 NS	図面番号 A-00						

工事特記仕様書(改修)

Table with 2 columns: Item (I. 工事名称, II. 工事概要, III. 工事内容) and Content (成和東小学校他2校プール施設改修工事, 依那古小学校, 三重県伊賀市沖265, etc.)

- III. 建築改修工事仕様
1. 共通仕様
2. 特記仕様
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
(3) 項目欄に記載の()内表示番号は改修仕様の該当項目を示す。

Main specification table with columns: 項目 (Item), 特記事項 (Special Notes), and 仕様 (Specifications). Includes sections for ① 適用基準, ② 施工条件, ③ 部分引渡し, ④ 埋蔵文化財調査, ⑤ 発生材の処理, ⑥ 建設副産物情報交換システム, ⑦ 三重県産業廃棄物税, ⑧ 電気保安技術者, ⑨ 技能士, ⑩ 施工数量調査.

Table with 2 columns: Item (1.1 調査のための球状部分の補修, 1.2 建築材料等, 1.3 化学物質の濃度測定, 1.4 特別な材料の工法, 1.5 騒音・振動の防止, 1.6 工事写真, 1.7 完成図等, 1.8 完成写真, 1.9 電子納品, 2.0 設備工事との取合い, 2.1 既存部分等への処置, 2.2 事故の発生時, 2.3 市内企業優先使用, 2.4 総合評価方式, 2.5 不当介入を受けた場合の措置, 2.6 消防関係の手続き, 2.7 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間) and 仕様 (Specifications/Requirements).

Table with 2 columns: Item (2.8 工事の一時中止, 2.9 建築基準法に基づき定まる風圧及び積雪荷重, 6.0 その他(補給工期), 2.1 足場, 2.2 既存部分の養生, 2.3 仮設間仕切り, 2.4 監督員事務所, 2.5 監督員事務所の備品, 6.1 仮設便所, 7.1 工事用水, 8.1 工事用電力, 9.1 交通誘導警備員) and 仕様 (Specifications/Requirements).

④ 外壁改修工事

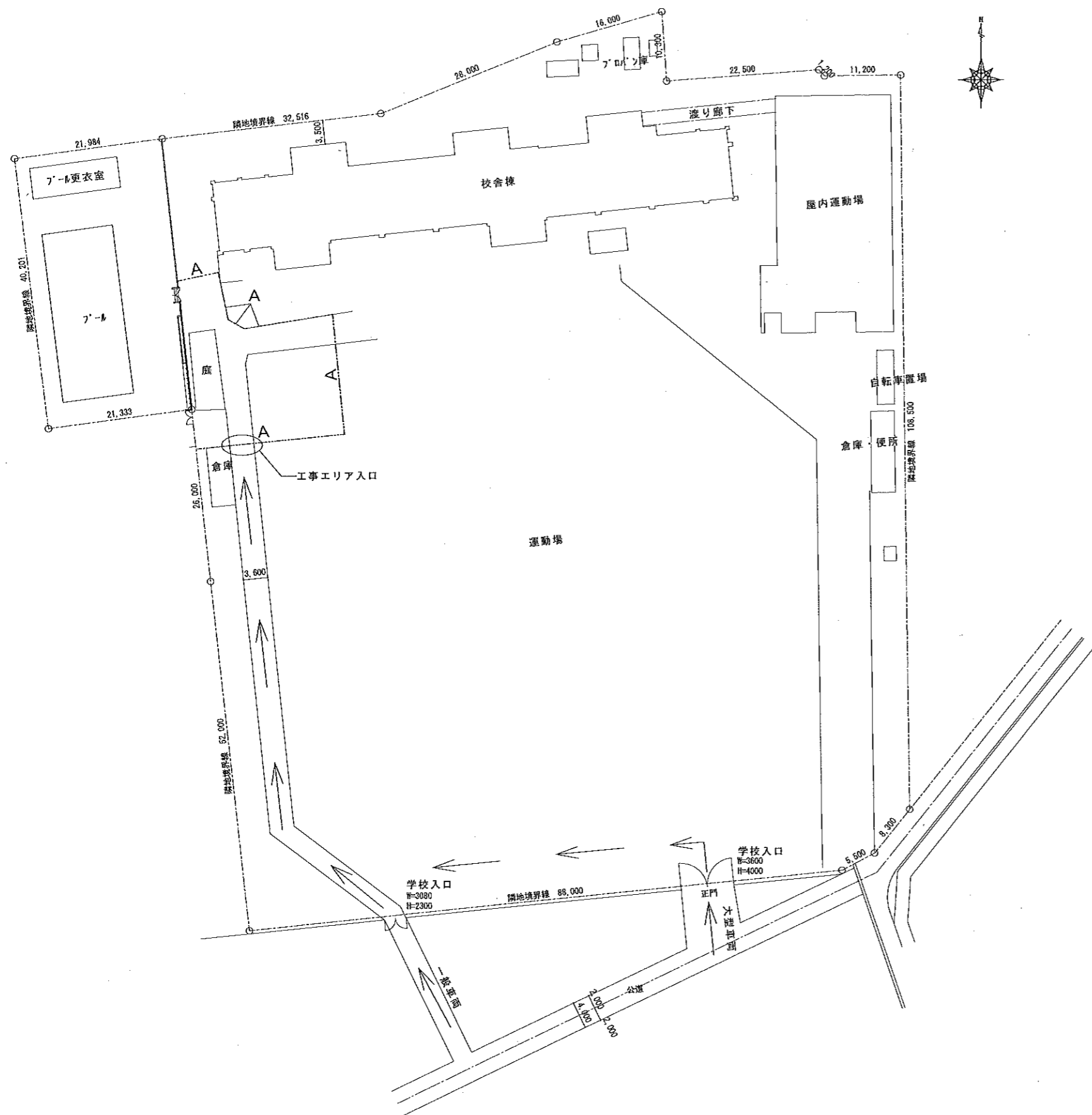
1 施工数量調査 (4.1.4) (4.1.5)	<ul style="list-style-type: none"> 行う・行わない 調査範囲 ・ 全面 () 調査項目 ・ ひび割れ部 (・ 幅0.2mm ・ 0.2mm~1.0mm ・ 1.0mm以上) ・ はがれ及びはく落部分 ・ 浮き部 調査方法 ・ 打診、目視及びクラックスケール等 (・ 足場 ・ ゴンドラ) 報告書 2部 (立面図等に記載、必要に応じて写真添付) 																																	
2 改修工法の種類 (4.1.4) (4.1.5)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>外壁</th> <th>種類</th> <th>改修工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">コンクリート打直し 仕上げ外壁</td> <td>ひび割れ部</td> <td>・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法</td> </tr> <tr> <td>欠損部</td> <td>・ 充填工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">モルタル塗り仕上げ外壁</td> <td>ひび割れ部</td> <td>・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法</td> </tr> <tr> <td>欠損部</td> <td>・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法 ・ アンカーピンニング</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">モルタル塗り仕上げ外壁</td> <td>浮き部</td> <td>・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法</td> </tr> <tr> <td>目地</td> <td>・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ タイル部分強替工法 ・ タイル張替え工法 ・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分強替工法 ・ タイル張替え工法 ・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">タイル張り仕上げ外壁</td> <td>ひび割れ部</td> <td>・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法</td> </tr> <tr> <td>欠損部</td> <td>・ タイル部分強替工法 ・ タイル張替え工法 ・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分強替工法 ・ タイル張替え工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">タイル張り仕上げ外壁</td> <td>浮き部</td> <td>・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分強替工法 ・ タイル張替え工法</td> </tr> <tr> <td>目地</td> <td>・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">塗り仕上げ外壁</td> <td>新規仕上げ</td> <td>・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ・ 複層仕上塗材塗り ・ 可とう形改修仕上塗材塗り ・ 各種塗料塗り ・ マスチック塗材塗り</td> </tr> <tr> <td>目地</td> <td>・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法</td> </tr> </tbody> </table>	外壁	種類	改修工法	コンクリート打直し 仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法	欠損部	・ 充填工法	モルタル塗り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法	欠損部	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法 ・ アンカーピンニング	モルタル塗り仕上げ外壁	浮き部	・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法	目地	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ タイル部分強替工法 ・ タイル張替え工法 ・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分強替工法 ・ タイル張替え工法 ・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法	タイル張り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法	欠損部	・ タイル部分強替工法 ・ タイル張替え工法 ・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分強替工法 ・ タイル張替え工法	タイル張り仕上げ外壁	浮き部	・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分強替工法 ・ タイル張替え工法	目地	・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法	塗り仕上げ外壁	新規仕上げ	・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ・ 複層仕上塗材塗り ・ 可とう形改修仕上塗材塗り ・ 各種塗料塗り ・ マスチック塗材塗り	目地	・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法
外壁	種類	改修工法																																
コンクリート打直し 仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法																																
	欠損部	・ 充填工法																																
モルタル塗り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法																																
	欠損部	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法 ・ アンカーピンニング																																
モルタル塗り仕上げ外壁	浮き部	・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法																																
	目地	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ タイル部分強替工法 ・ タイル張替え工法 ・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分強替工法 ・ タイル張替え工法 ・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法																																
タイル張り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法																																
	欠損部	・ タイル部分強替工法 ・ タイル張替え工法 ・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分強替工法 ・ タイル張替え工法																																
タイル張り仕上げ外壁	浮き部	・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分強替工法 ・ タイル張替え工法																																
	目地	・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法																																
塗り仕上げ外壁	新規仕上げ	・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ・ 複層仕上塗材塗り ・ 可とう形改修仕上塗材塗り ・ 各種塗料塗り ・ マスチック塗材塗り																																
	目地	・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法																																
3 改修工法等 (4.2.2)(a) (4.3.4) (4.4.5) (4.5.5)	<ul style="list-style-type: none"> 樹脂注入工法 種類 ・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入量 () 注入間隔 () ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入量 () 注入間隔 () ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入量 () 注入間隔 () 材料 エポキシ樹脂JIS A6024(建築補修用注入エポキシ樹脂) ・ 低粘度形 ・ 中粘度形 コア採取検査 ・ 行う ・ 行わない ・ 採取回数 () ・ 採取部分補修方法 () 																																	
(4.2.2)(b) (4.3.5) (4.4.6) (4.5.6)	<ul style="list-style-type: none"> Uカットシール材充填工法 材料 ・ シーリング用材充填 (・ PU-1 ・ PU-2 ()) ・ 可とう性エポキシ樹脂充填 シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填 ・ 行う ・ 行わない 																																	
(4.2.2)(c) (4.3.6) (4.4.7)	<ul style="list-style-type: none"> シール工法 材料 ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂 																																	
(4.2.2)(d) (4.3.7) (4.4.8)	<ul style="list-style-type: none"> 充填工法 材料 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル 																																	
(4.2.2)(e) (4.4.9)	<ul style="list-style-type: none"> モルタル塗替え工法 材料 ・ 既製目地の適用及び形状 () 仕上げ厚 () 																																	
(4.2.2)(f) (4.4.10) (図4.4.1)	<ul style="list-style-type: none"> アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 アンカーピン数の本数 ・ 標準 () 材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) () 																																	
(4.2.2)(g) (4.4.11) (図4.4.2)	<ul style="list-style-type: none"> アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 アンカーピン数の本数及び注入口の数 ・ 標準 () 材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) () 																																	

(4.2.2)(a) (4.4.12) (図4.4.2)	<ul style="list-style-type: none"> アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 () 材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) () 																																		
(4.2.2)(f) (4.4.13) (図4.4.3)	<ul style="list-style-type: none"> 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 注入口付アンカーピンの本数 ・ 標準 () 材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) () 呼び径 ・ 6mm () 																																		
(4.2.2)(f) (4.4.14) (図4.4.4)	<ul style="list-style-type: none"> 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 注入口付アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 () 材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) () 呼び径 ・ 6mm () 																																		
(4.2.2)(f) (4.4.15) (図4.4.4)	<ul style="list-style-type: none"> 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 注入口付アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 () 材料 ・ ポリマーセメントスラリー () ・ 注入口付アンカーピン (・ ステンレス鋼 (SUS304) ()) 呼び径 ・ 6mm () 																																		
(4.2.2)(h) (4.5.7)	<ul style="list-style-type: none"> タイル部分強替工法 材料 ・ ポリマーセメントモルタル 																																		
(4.2.2)(h) (4.5.7)	<ul style="list-style-type: none"> 変成シリコン樹脂、エポキシ樹脂、ポリウレタン樹脂 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">用途による区分</th> <th colspan="3">区分</th> <th rowspan="2">役物</th> <th rowspan="2">標準・特注色</th> <th rowspan="2">耐凍害性有無</th> </tr> <tr> <th>I類(磁器)</th> <th>II類(せつ器)</th> <th>III類(陶器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	形状寸法	工法	用途による区分	区分			役物	標準・特注色	耐凍害性有無	I類(磁器)	II類(せつ器)	III類(陶器)																					
施工箇所	形状寸法					工法	用途による区分	区分				役物	標準・特注色	耐凍害性有無																					
		I類(磁器)	II類(せつ器)	III類(陶器)																															
(4.2.2)(h) (4.5.7)	<ul style="list-style-type: none"> タイル部分強替工法 材料 ・ ポリマーセメントモルタル 																																		
(4.2.2)(h) (4.5.8) (表4.5.4)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">用途による区分</th> <th colspan="3">区分</th> <th rowspan="2">役物</th> <th rowspan="2">標準・特注色</th> <th rowspan="2">耐凍害性有無</th> </tr> <tr> <th>I類(磁器)</th> <th>II類(せつ器)</th> <th>III類(陶器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	形状寸法	工法	用途による区分	区分			役物	標準・特注色	耐凍害性有無	I類(磁器)	II類(せつ器)	III類(陶器)																					
施工箇所	形状寸法					工法	用途による区分	区分				役物	標準・特注色	耐凍害性有無																					
		I類(磁器)	II類(せつ器)	III類(陶器)																															
(4.2.2)(h) (4.5.8) (表4.5.4)	<ul style="list-style-type: none"> タイル張替え工法 タイルの種類 タイルの大きさ 工法 塗り厚(mm) <table border="1"> <thead> <tr> <th>タイルの種類</th> <th>タイルの大きさ</th> <th>工法</th> <th>塗り厚(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">外装 タイル</td> <td rowspan="3">小口以上二丁掛け以下</td> <td>・ 密着張り</td> <td>5~8</td> </tr> <tr> <td>・ 改良床み上げ張り</td> <td>4~7</td> </tr> <tr> <td>・ 改良圧着張り</td> <td>4~6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ユニットタイル</td> <td rowspan="2">・ 25mm角を越え小口未満 ・ 小口未満</td> <td>・ マスク張り</td> <td>3~4</td> </tr> <tr> <td>・ モザイクタイル貼り</td> <td>3~5</td> </tr> </tbody> </table>	タイルの種類	タイルの大きさ	工法	塗り厚(mm)	外装 タイル	小口以上二丁掛け以下	・ 密着張り	5~8	・ 改良床み上げ張り	4~7	・ 改良圧着張り	4~6	ユニットタイル	・ 25mm角を越え小口未満 ・ 小口未満	・ マスク張り	3~4	・ モザイクタイル貼り	3~5																
タイルの種類	タイルの大きさ	工法	塗り厚(mm)																																
外装 タイル	小口以上二丁掛け以下	・ 密着張り	5~8																																
		・ 改良床み上げ張り	4~7																																
		・ 改良圧着張り	4~6																																
ユニットタイル	・ 25mm角を越え小口未満 ・ 小口未満	・ マスク張り	3~4																																
		・ モザイクタイル貼り	3~5																																
(4.5.15)	<ul style="list-style-type: none"> 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法 注入口付アンカーピンの本数 () 																																		
(4.2.2)(h) (4.5.16)	<ul style="list-style-type: none"> 目地ひび割れ部改修工法 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地 位置 寸法 () 検査 シーリング接着性試験 ・ 行う (・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験) 																																		
4 塗り仕上げ (4.2.2)(f) (表4.2.4(その1) (その2))	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>仕上げ形状</th> <th>工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">薄付け仕上塗材</td> <td rowspan="2">・ 外装薄塗材E</td> <td>・ 砂肌状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ 平たん状</td> <td>こて</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">厚付け仕上塗材</td> <td rowspan="2">・ 外装厚塗材C</td> <td>・ 砂肌状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ 平たん状</td> <td>こて</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">厚付け仕上塗材</td> <td rowspan="2">・ 外装厚塗材SI ・ 外装厚塗材E</td> <td>・ 砂肌状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ 平たん状</td> <td>こて</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">複層仕上塗材</td> <td rowspan="2">・ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 防水形複層塗材E ・ 防水形複層塗材RE</td> <td>・ 砂肌状</td> <td>ローラー</td> </tr> <tr> <td>・ 平たん状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">可とう形改修仕上塗材</td> <td rowspan="2">・ 可とう形改修塗材E ・ 可とう形改修塗材RE ・ 可とう形改修塗材OE</td> <td>・ 砂肌状</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・ 平たん状</td> <td>ローラー</td> </tr> </tbody> </table>	種類	呼び名	仕上げ形状	工法	薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材E	・ 砂肌状	吹付け	・ 平たん状	こて	厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C	・ 砂肌状	吹付け	・ 平たん状	こて	厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材SI ・ 外装厚塗材E	・ 砂肌状	吹付け	・ 平たん状	こて	複層仕上塗材	・ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 防水形複層塗材E ・ 防水形複層塗材RE	・ 砂肌状	ローラー	・ 平たん状	吹付け	可とう形改修仕上塗材	・ 可とう形改修塗材E ・ 可とう形改修塗材RE ・ 可とう形改修塗材OE	・ 砂肌状	吹付け	・ 平たん状	ローラー
種類	呼び名	仕上げ形状	工法																																
薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材E	・ 砂肌状	吹付け																																
		・ 平たん状	こて																																
厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C	・ 砂肌状	吹付け																																
		・ 平たん状	こて																																
厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材SI ・ 外装厚塗材E	・ 砂肌状	吹付け																																
		・ 平たん状	こて																																
複層仕上塗材	・ 複層塗材E ・ 複層塗材RE ・ 防水形複層塗材E ・ 防水形複層塗材RE	・ 砂肌状	ローラー																																
		・ 平たん状	吹付け																																
可とう形改修仕上塗材	・ 可とう形改修塗材E ・ 可とう形改修塗材RE ・ 可とう形改修塗材OE	・ 砂肌状	吹付け																																
		・ 平たん状	ローラー																																
(4.7.2) (表4.7.1)	<ul style="list-style-type: none"> 外装厚塗材Cの上塗材がセメントスタッコ以外の場合 材料要量 (kg/m²) マスチック塗材塗り ・ A種 ・ B種 仕上材塗り () 																																		

(表4.2.5)	<p>複層仕上塗材の上塗材の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">樹脂種類</th> <th colspan="2">溶媒種類</th> <th colspan="2">外観</th> </tr> <tr> <th>溶剤系</th> <th>水系</th> <th>艶有</th> <th>艶無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・ アクリル系</td> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有</td> <td>・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有</td> <td>・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ シリカ系</td> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有</td> <td>・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有</td> <td>・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ ポリウレタン系</td> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有</td> <td>・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有</td> <td>・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ アクリルシリコン系</td> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有</td> <td>・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有</td> <td>・ 艶無</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ ふっ素系</td> <td>・ 溶剤系</td> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有</td> <td>・ 艶無</td> </tr> <tr> <td>・ 弱溶剤系</td> <td>・ 水系</td> <td>・ 艶有</td> <td>・ 艶無</td> </tr> </tbody> </table>	樹脂種類	溶媒種類		外観		溶剤系	水系	艶有	艶無	・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無	・ 弱溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無	・ シリカ系	・ 溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無	・ 弱溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無	・ ポリウレタン系	・ 溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無	・ 弱溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無	○ アクリルシリコン系	・ 溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無	・ 弱溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無	・ ふっ素系	・ 溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無	・ 弱溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無
樹脂種類	溶媒種類		外観																																																				
	溶剤系	水系	艶有	艶無																																																			
・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無																																																			
	・ 弱溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無																																																			
・ シリカ系	・ 溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無																																																			
	・ 弱溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無																																																			
・ ポリウレタン系	・ 溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無																																																			
	・ 弱溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無																																																			
○ アクリルシリコン系	・ 溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無																																																			
	・ 弱溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無																																																			
・ ふっ素系	・ 溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無																																																			
	・ 弱溶剤系	・ 水系	・ 艶有	・ 艶無																																																			
(4.6.3)	<p>既存塗膜等の除去及び下地処理</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>処理範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ サンダー工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 高圧水洗工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 浸漬はく離剤工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 水洗工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ テッキブラシ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 高圧ポンプ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	工法	処理範囲	・ サンダー工法		・ 高圧水洗工法		・ 浸漬はく離剤工法		・ 水洗工法		・ テッキブラシ		○ 高圧ポンプ																																									
工法	処理範囲																																																						
・ サンダー工法																																																							
・ 高圧水洗工法																																																							
・ 浸漬はく離剤工法																																																							
・ 水洗工法																																																							
・ テッキブラシ																																																							
○ 高圧ポンプ																																																							
(4.6.4)	<p>下地調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 0-1 ・ 0-2 ・ CM-2 ・ E () 																																																						
(14) モルタル塗り (6.15.3)	<p>既製目地材 ・ 使用する(形状:)</p> <p>床の目地 ・ 図示(図面番号:)</p>																																																						
(15) タイル張り (6.16.2) (6.16.3)	<p>伸縮調整目地</p> <p>位置 ・ 図示(図面番号:)</p>																																																						
(6.16.3)(b)(1)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">用途による区分</th> <th rowspan="2">すべり抵抗性</th> <th colspan="3">区分</th> <th rowspan="2">役物</th> <th rowspan="2">標準・特注色</th> <th rowspan="2">耐凍害性有無</th> </tr> <tr> <th>I類(磁器)</th> <th>II類(せつ器)</th> <th>III類(陶器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手洗いシンク</td> <td>25角</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	形状寸法	工法	用途による区分	すべり抵抗性	区分			役物	標準・特注色	耐凍害性有無	I類(磁器)	II類(せつ器)	III類(陶器)	手洗いシンク	25角				○			○																															
施工箇所	形状寸法						工法	用途による区分	すべり抵抗性				区分			役物	標準・特注色	耐凍害性有無																																					
		I類(磁器)	II類(せつ器)	III類(陶器)																																																			
手洗いシンク	25角				○			○																																															
(6.16.3)(b)(1)	<p>試験張り ・ 行う ・ 行わない</p> <p>見本焼き ・ 行う ・ 行わない</p>																																																						

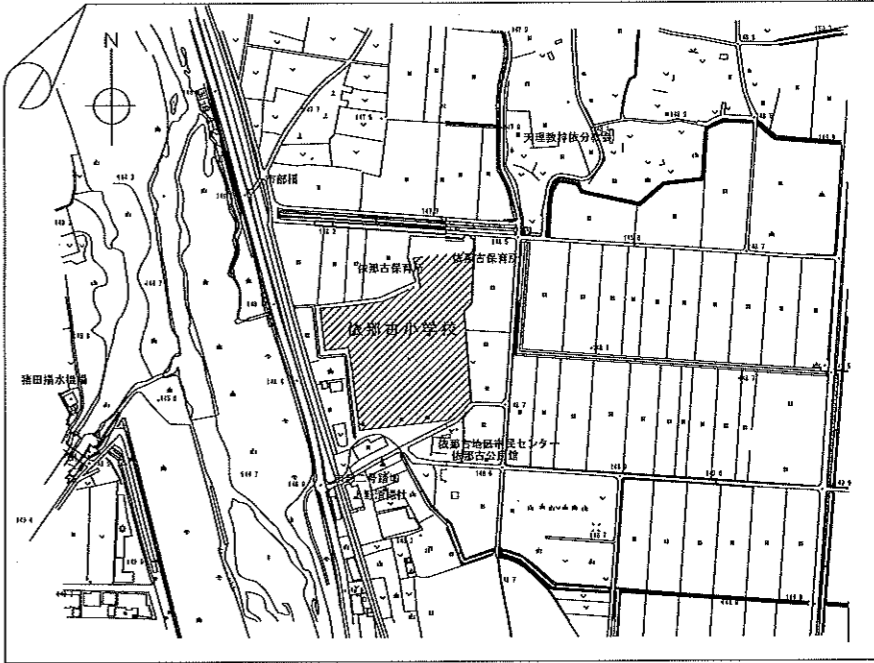
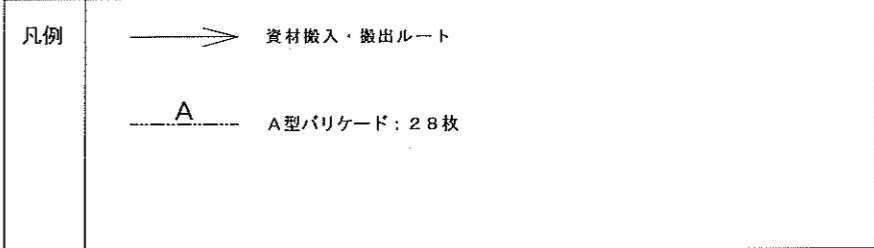
7 塗装 改修 工事	1 材料 (7.1.3) (b)	・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)		
	2 下地調整 (7.2.1~7.2.7) (表7.2.1)~ (表7.2.7)	既存塗膜の除去範囲(塗り替えてR B種の場合) ・ 図示(図面番号:)		
		種別		
		下地		
		種別		
		ひび割れ部の補修		
		・ 木部	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	
		・ 鉄鋼面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	
		・ 亜鉛めっき鋼面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	
		・ モルタル、プラスター面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う
		・ コンクリート、ALCパネル面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う
		・ コンクリート、押出成形セメント板面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う
		・ せっこうボード、その他ボード面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	
	3 錆止め塗料塗り (7.3.2) (7.3.3) (表7.3.3)~ (表7.3.4)	錆止め塗料種別 ・ 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 錆止め塗料塗り種別 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種		
	4 合成樹脂適合ペ イント塗り(SOP) (7.4.2) (7.4.3~7.4.5) (表7.4.1)~ (表7.4.3)	塗料種別 ・ 1種 ・ () 種別		
	下地			
	種別			
	・ 木部	・ A種 ・ B種 ・ C種		
	・ 鉄鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種		
	・ 亜鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種		
5 クリヤラッカー 塗り(OL) (7.5.2) (表7.5.1)	種別 木部 ・ A種 ・ B種			
6 アクリル樹脂系 非水分散形塗料 (NAD) (7.7.2) (表7.7.1)	種別 ・ A種 ・ B種			
7 耐候性塗料塗り (OP) (7.8.2)~ (7.8.4) (表7.8.1)~ (表7.8.3)	上塗り等級 ・ 1級(フッ素系) ・ 2級(シリコン系) ・ 3級(ポリウレタン系) 種別			
	下地			
	種別			
	鉄鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種		
	亜鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種		
	コンクリート面及び 押出成形セメント板面	・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種		
8 つや有合成樹脂 エマルジョンペ イント塗り (EP-6) (7.9.2)~(7.9.5) (表7.9.1)~ (表7.9.4)	種別			
	下地			
	種別			
	コンクリート、モルタル、 プラスター、せっこうボード、 その他ボード面	・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め()		
	木部(屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種		
	鉄鋼面(屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種		
	亜鉛めっき鋼面(屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種		
9 合成樹脂エマ ルジョンペイン ト塗り(EP) (7.10.2) (表7.10.1)	種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め()			
10 合成樹脂エマ ルジョン標準 塗料塗り(EP-7) (7.11.2) (表7.11.1)	種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種			
11 ウレタン樹脂 ワニス塗り(UO) (7.12.2) (表7.12.1)	種別 ・ A種 ・ B種			
12 ラッカーエナ メル塗り(LE) (7.13.2) (表7.13.1)	種別 ・ A種 ・ B種			
13 木造保護塗料 塗り(OP) (7.15.2) (表7.15.1)	種別 ・ A種 ・ B種			

8 の 5 耐 震 改 修 工 事 あ と 施 工 ア ン カ ー 工 事	(あと施工アンカー)	種別
	① あと施工アンカー の材料 (8.2.4) (表8.2.2)	① 金属系 セット方式 ② 本体打込み式(・ 改良型 ③ 従来型) 径及び埋込み深さ ・ 図示(図面番号:) 引張耐力 ・ 図示(図面番号:) せん断耐力 ・ 図示(図面番号:) 接合部の種類・径・長さ ④ 図示(図面番号:) ・ 接合系 カプセル型回転 ・ 打撃式 ・ 有線系 ・ 無線系 径及び埋込み深さ ・ 図示(図面番号:) 引張耐力 ・ 図示(図面番号:) せん断耐力 ・ 図示(図面番号:) アンカー筋の種類 ・ 図示(図面番号:) アンカー筋の新設壁内への定着長さ ・ 図示(図面番号:) あと施工アンカーの性能確認試験 ・ 行う ・ 行わない
	② あと施工アンカー の施工 (8.12.2) (8.12.4) (8.12.5) (8.12.5)	穿孔 埋込み配管等の提案の方法 ① 鉄筋探知機(金属探知機)により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 ・ はつり出しによる。 ・ () あと施工アンカーの施工確認試験 ① 実施する ・ 実施しない 確認試験方法 ① 改修標準仕様書(8.12.5)による ・ () 確認強度 ・ ()
	(場所打ちコンクリ ート壁の増設工事)	場所打ちコンクリート壁の打増部に用いる既存部とのシアコネクタ 種類 ・ 金属系あと施工アンカーの異形差筋アンカー ・ 接合系あと施工アンカーの異形差筋アンカー 径[mm] ・ D10 長さ[mm] ・ 増打壁厚-40 ・ () 埋込み深さ[mm] ・ 5d(d: シアコネクタの径)以上 ・ () 間隔[mm] ・ 500×500 シアコネクタとセパレーターの兼用 ・ 兼用してもよい ・ 兼用しない ・ ()
	3 シアコネクタ	



—留意事項—

- ※1) 工事車両の進入は、8:40以降。
- ※2) 校内は最徐行（10km/h以下）にて工事車両等は移動のこと。
- ※3) 交通誘導員を配置している際は、学校入り口から工事エリア入り口まで交通誘導員が工事車両を誘導すること。
- ※4) 必要に応じて適切な路面等の養生を行うこと。



配置図兼仮設計図図 S=1/500

特記	工事名	成和東小学校他2校プール施設改修工事			承認	管理建築士	印
	図名	(依那古小学校) 配置図兼仮設計図図	縮尺	1/500 (A2)	図面番号	A-04	
					図面提出日	2019/1/31	

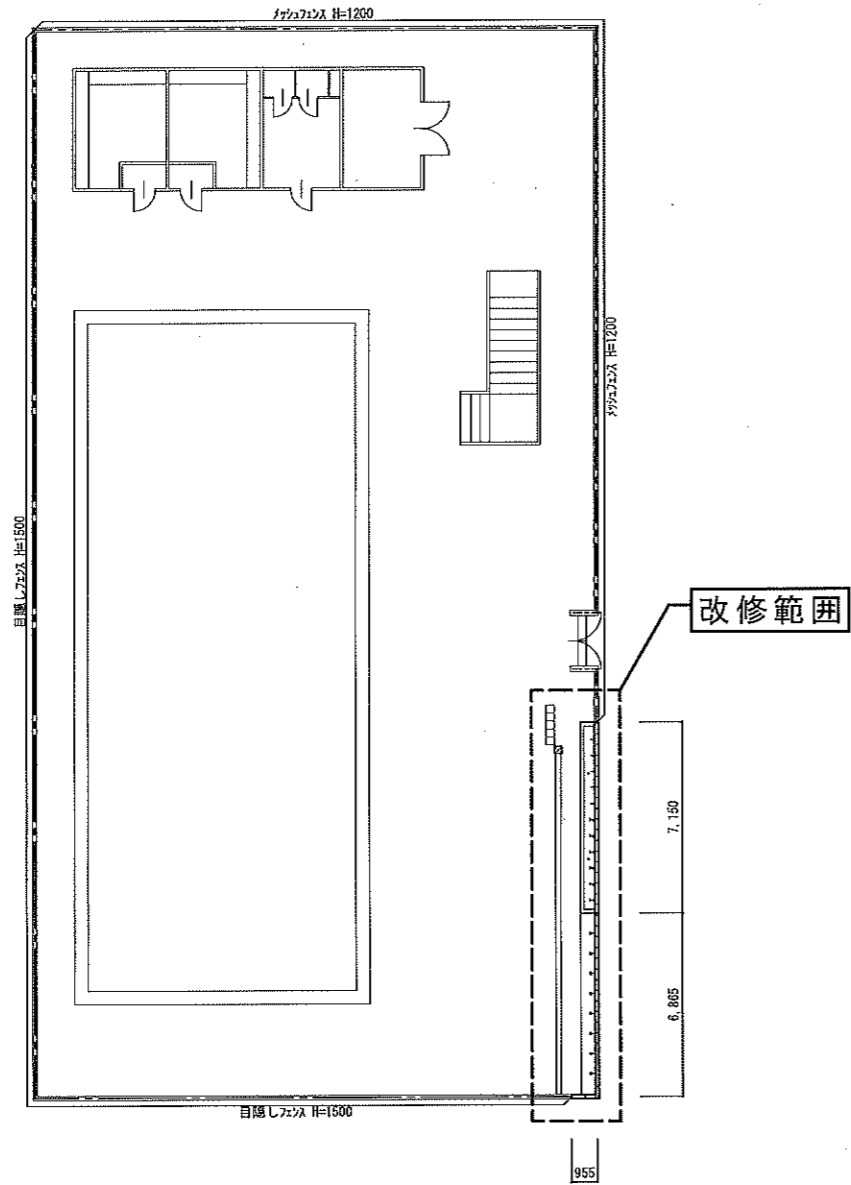
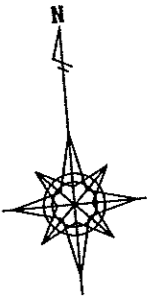
撤去概要

- ・改修範囲内の既存ブロック塀の撤去。
- ・シャワー・手洗い・眼洗いの撤去。
- ・控え壁の新設に伴う土間コンクリートの撤去。

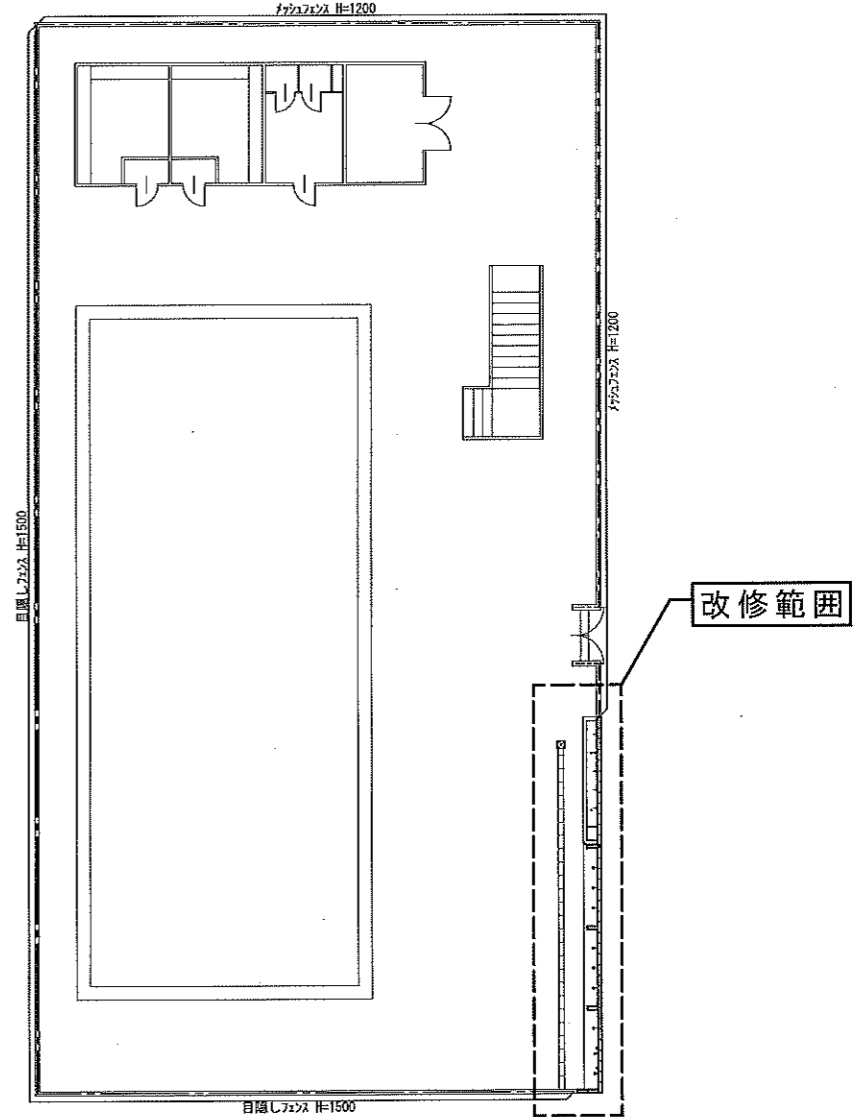
現況 → 改修

改修概要

- ・改修範囲内の既存ブロック塀の新設
- ・シャワー・手洗いの新設。
- ・控え壁の新設と、それに伴う土間コンクリートの復旧。



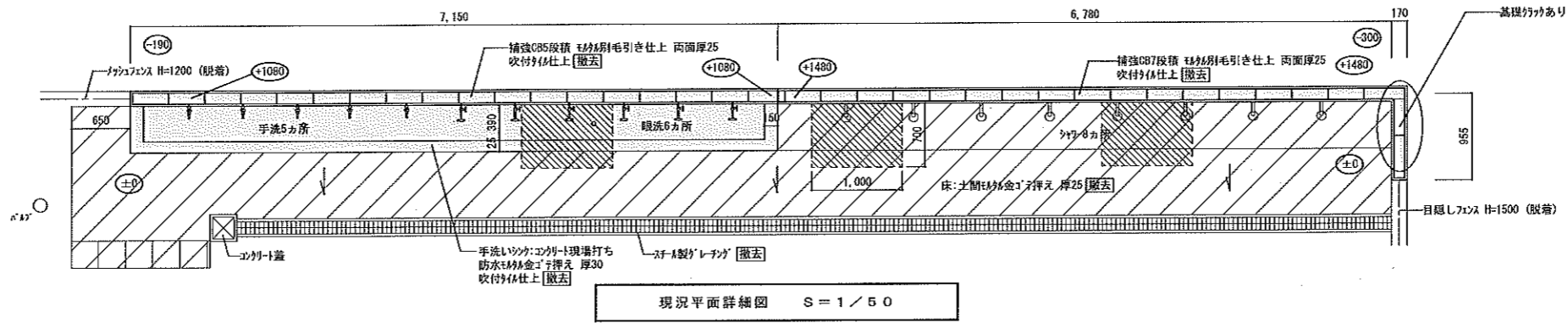
現況平面図 S = 1 / 200



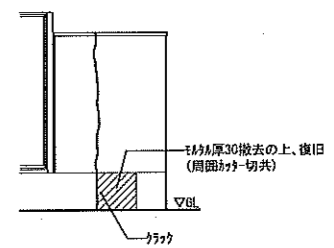
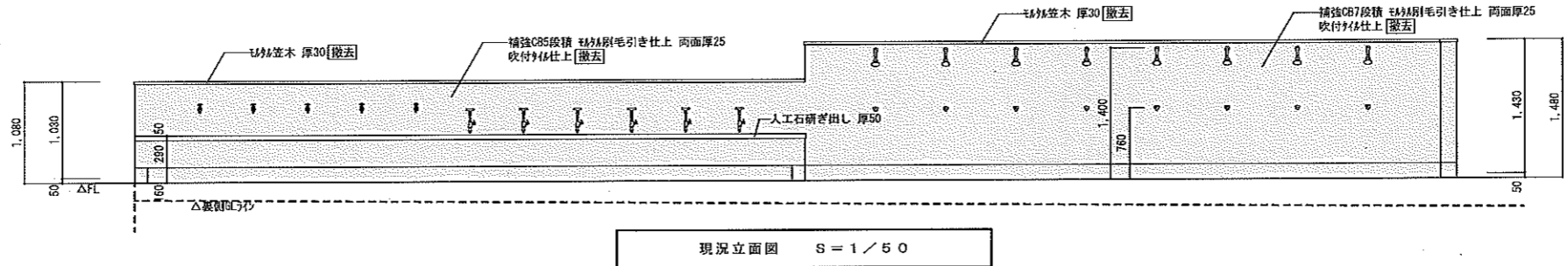
改修平面図 S = 1 / 200

現況 → 改修

特記	工事名 成和東小学校他2校プール施設改修工事				承認	管理建築士	甲
	図名 (依那古小学校) 平面図	縮尺 1/200 (A2)	図面番号 A-05				
				図面提出日			

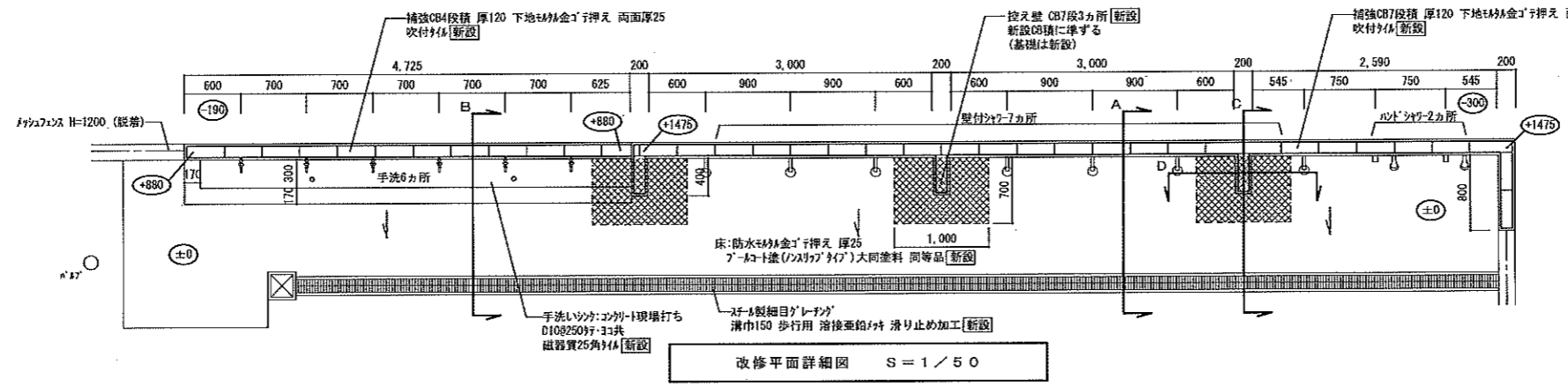


- <凡例>
- 撤去範囲を示す。
 - 床改修範囲を示す。モルタル厚25撤去
 - 土間切り一切の上、撤去範囲を示す。
 コケト厚100
 D108250打・30共
 モルタル厚25
 - F.L.表記

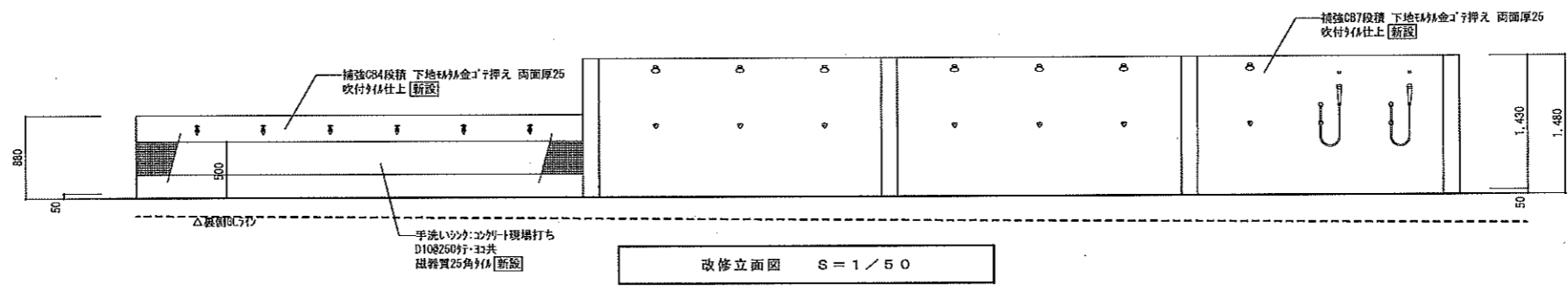


現況
↓
改修

現況
↓
改修



- <凡例>
- 土間復旧範囲を示す。
 コケト厚100
 D108250打・30共
 モルタル厚30
 アークト塗装(ノリツグタイプ)大同塗料 同等品
 - F.L.表記



特記	工事名	成和東小学校他2校プール施設改修工事			承認	管理建築士	印
	図名	(依那古小学校)平面詳細図・立面図	縮尺	1/50 (A2)	図面番号	A-06	
					図面提出日		

図示記号

記号	名称
—	給水管
—	排水管
⊗	給水栓
⊕ ⊗ ⊙	井類
⊕	床上掃除口
⊙	排水金物

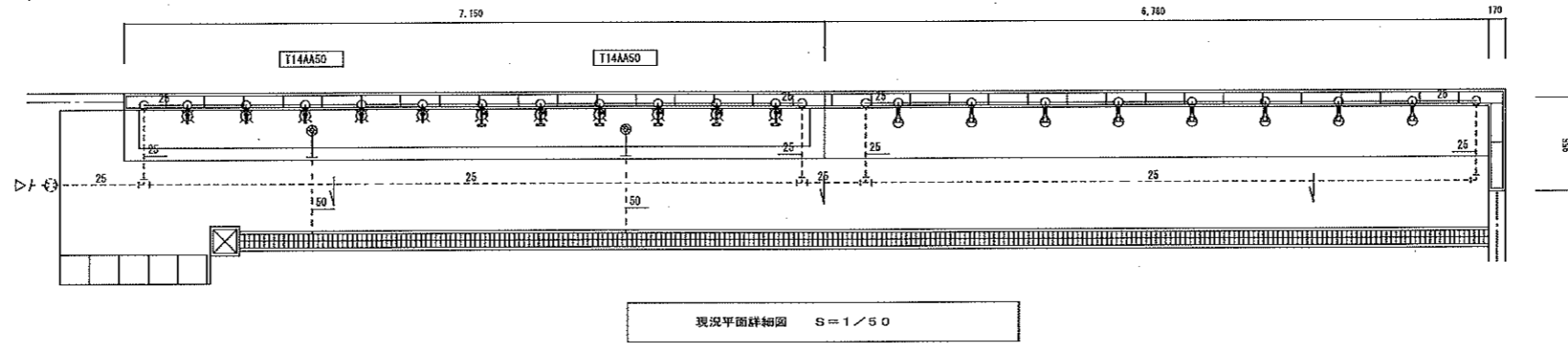
衛生器具表

名称	品番	附属品	外部	合計
横水栓	LF-7R-13	吐水口回転形	6	6
固定シャワー	BF-4R	BF-2S-13(埋込形止水栓)	7	7
ハンドシャワー	BF-SG6A	BF-2S-13(埋込形止水栓) , BF-30R(フックス2ヶ)	2	2

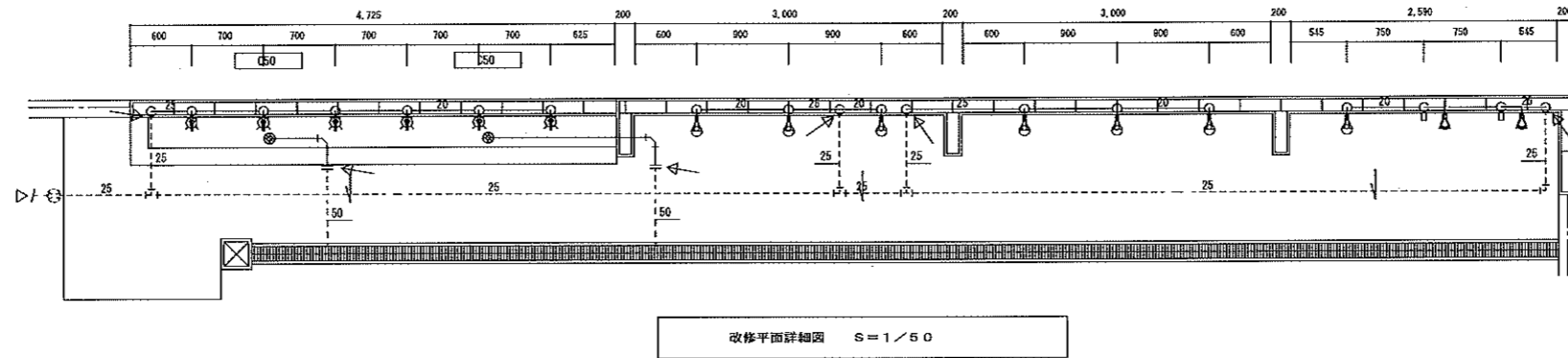
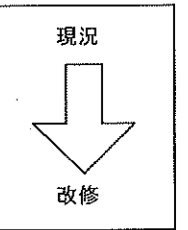
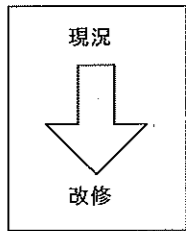
*衛生器具型番は参考とし、監督員の指示（器具の調養等）に従うものとする。

凡例	今回撤去箇所を示す
	既存箇所を示す

注記) 取設配管サイズ、ルートは参考とする。
 取設埋設配管、今回工事に支障なきは既存放棄とする。
 (取設管水抜き処理の上、管末プラグ止め)
 土間及びブロックはつり撤去は建築工事とする。



取水栓	5	撤去
洗面水栓	6	撤去
シャワー水栓	8	撤去



凡例	今回改修箇所を示す
	既存箇所を示す
	取設接続箇所を示す

注記) 取設配管サイズ、ルートは参考とする。
 土間及びブロックはつり撤去は建築工事とする。

日付	工事名	成和東小学校他2校プール施設改修工事			管理建築士	印
	図名	(依那吉小学校) 平面詳細図 給排水衛生設備	縮尺	1/50 (A2)		

神戸小学校

図面リスト

No.	図面名称	No.	図面名称
A-00	図面リスト	M-01	特記仕様書
A-01	改修工事特記仕様書 1	M-02	図示記号・衛生器具表
A-02	改修工事特記仕様書 2	M-03	平面詳細図 1 給排水衛生設備
A-03	改修工事特記仕様書 3	M-04	平面詳細図 2 給排水衛生設備
A-04	配置図兼仮設計画図		
A-05	平面図		
A-06	平面詳細図・立面図 1		
A-07	平面詳細図・立面図 2		
A-08	断面詳細図 1		
A-09	断面詳細図 2		

特記	工事名 成和東小学校他2校プール施設改修工事			承認		管理建築士	印
	図名 (神戸小学校) 図面リスト	縮尺 NS	図面番号 A-00	図面提出日			

工事特記仕様書（改修）

Table with 2 columns: Item (I. 工事名称, II. 工事概要, 1. 工事場所, 2. 敷地面積, 3. 工事内容) and Content (成和東小学校他2校プール施設改修, 神戸小学校, 三重県伊賀市上神戸40, etc.)

- III. 建築改修工事仕様
1. 共通仕様
2. 特記仕様
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
(3) 項目欄に記載の()内表示番号は改修仕様の該当項目を示す。

Main specification table with columns: Chapter (章), Item (項目), Particular Item (特記事項). Includes sections for general common items (一般共通事項) and construction details.

Table with 2 columns: Item (項目) and Particular Item (特記事項). Contains detailed technical specifications for materials, chemical substances, and construction methods.

Table with 2 columns: Item (項目) and Particular Item (特記事項). Contains safety and site management specifications, including temporary construction (仮設工事) and site safety measures.

Project information form including project name (成和東小学校他2校プール施設改修工事), location (神戸小学校), and drawing details (図名, 縮尺, 図面番号).

④ 外壁改修工事

- 1 施工数量調査 (4.1.4) (4.1.5)
- 2 改修工法の種類 (4.1.4) (4.1.5)
- 3 改修工法等 (4.2.2)(a) (4.3.4) (4.4.4) (4.5.5) (4.2.2)(b) (4.3.5) (4.4.4) (4.5.6) (4.2.2)(c) (4.3.6) (4.4.7) (4.2.2)(d) (4.3.7) (4.4.8) (4.2.2)(e) (4.3.9) (4.2.2)(f) (4.4.10) (4.4.11) (4.4.12) (4.2.2)(g) (4.4.13) (4.4.14) (4.2.2)(h) (4.4.15) (4.2.2)(i) (4.5.7) (4.2.2)(j) (4.5.8) (4.5.9) (4.2.2)(k) (4.5.15) (4.2.2)(l) (4.5.16)

外壁	種類	改修工法
コンクリート打放し仕上げ外壁	ひび割れ部 欠損部	樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法 シール工法 充填工法
モルタル塗り仕上げ外壁	ひび割れ部 欠損部 浮き部	樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法 シール工法 充填工法 モルタル塗替え工法 アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 充填工法 モルタル塗替え工法
タイル張り仕上げ外壁	ひび割れ部 欠損部 浮き部 目地	樹脂注入工法 Uカットシール材充填工法 タイル部分張替え工法 タイル張替え工法 アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 全面エポキシ樹脂注入工法 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 エポキシ樹脂注入タイル固定工法 タイル部分張替え工法 タイル張替え工法 目地ひび割れ部改修工法 伸縮目地改修工法
塗り仕上げ外壁	新規仕上げ	薄付け仕上塗り 厚付け仕上塗り 復原仕上塗り 可とう形改修仕上塗り 各種塗料塗り マスチック塗料塗り

③ 改修工法等

(4.2.2)(a) (4.3.4) (4.4.4) (4.5.5)

樹脂注入工法
種類 ・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
注入量 () 注入間隔 ()
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法
注入量 () 注入間隔 ()
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法
注入量 () 注入間隔 ()
材料 エポキシ樹脂JIS A6024(建築修繕用注入エポキシ樹脂)
低粘度形 ・ 中粘度形
コア抜取検査 ・ 行う ・ 行わない
抜取り個数 ()
抜取り部分補修方法 ()

(4.2.2)(b) (4.3.5) (4.4.4) (4.5.6)

Uカットシール材充填工法
材料 ・ シーリング用材充填
(・ PU-1 ・ PU-2 ())
・ 可とう性エポキシ樹脂充填
シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填
・ 行う ・ 行わない

(4.2.2)(c) (4.3.6) (4.4.7)

シール工法
材料 ・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

(4.2.2)(d) (4.3.7) (4.4.8)

充填工法
材料 ・ エポキシ樹脂モルタル
・ ポリマーセメントモルタル

(4.2.2)(e) (4.3.9)

モルタル塗替え工法
材料 ・ 既製目地の適用及び形状 ()
仕上げ厚 ()

(4.2.2)(f) (4.4.10) (4.4.11) (4.4.12)

アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
アンカーピンの本数 ・ 標準 ()
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ()

(4.2.2)(g) (4.4.13) (4.4.14)

アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ()
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ()

- (4.2.2)(e) (4.4.12) (4.4.13) (4.4.14)
- (4.2.2)(f) (4.4.15) (4.2.2)(g) (4.4.16) (4.2.2)(h) (4.5.7)
- (4.2.2)(i) (4.5.8) (4.5.9)
- (4.2.2)(j) (4.5.15)
- (4.2.2)(k) (4.5.16)
- ④ 塗り仕上げ (4.2.2)(j) (4.2.2)(k) (4.5.16)
- (4.7.2) (4.7.1)

(4.2.2)(e) (4.4.12) (4.4.13) (4.4.14)

アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ()
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ()

(4.2.2)(f) (4.4.13) (4.4.14)

注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
注入口付アンカーピンの本数 ・ 標準 ()
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ()
呼び径 ・ 6mm ()

(4.2.2)(f) (4.4.14) (4.4.15)

注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
注入口付アンカーピンの本数及び注入口の数 ・ 標準 ()
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ()
呼び径 ・ 6mm ()

(4.2.2)(f) (4.4.15) (4.4.16)

注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
注入口付アンカーピンの本数及び注入口の配置 ・ 標準 ()
材料 ・ ポリマーセメントスラリー ()
・ 注入口付アンカーピン (・ ステンレス鋼 (SUS304) ())
呼び径 ・ 6mm ()

(4.2.2)(h) (4.5.7)

タイル部分張替え工法
材料 ・ ポリマーセメントモルタル

・ 変成シリコン樹脂、エポキシ樹脂、ポリウレタン樹脂

施工箇所	形状寸法	工法	用途による区分	区分			役物	標準・特注色	耐凍害性有無
				I類(組積)	II類(せつ器)	III類(陶器)			

・ 役物 (・ 一体成形 ・ 接着加工)
・ 試験張り ・ 行う ・ 行わない
・ 見本焼き ・ 行う ・ 行わない

(4.2.2)(h) (4.5.8) (4.5.9)

タイル張替え工法

タイルの種類	タイルの大きさ	工法	張り厚(mm)
・ 密着張り			5~8
・ 改良種み上げ張り			4~7
・ 改良圧着張り			下地側 4~6 タイル側 3~4
・ マスク張り			3~4
・ モザイクタイル貼り			3~5

(4.2.2)(i) (4.5.15)

注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法
注入口付アンカーピンの本数 (本)

(4.2.2)(k) (4.5.16)

目地ひび割れ部改修工法
伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地
(位置 寸法 ×)
検査 シーリング接着性試験
・ 行う (・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験)

種類	呼び名	仕上げ形状	工法
薄付け仕上塗り	・ 外装薄塗りE	・ 砂肌状	吹付け
		・ 砂肌状	吹付け
厚付け仕上塗り	・ 外装厚塗りC	・ 平たん状	こて
		・ 凹凸状	こて
複層仕上塗り	・ 外装厚塗りSI ・ 外装厚塗りE	・ 砂肌状	ローラー
		・ 砂肌状	ローラー
可とう形改修用仕上塗り	・ 可とう形改修塗りE ・ 可とう形改修塗りRE ・ 可とう形改修塗りCE	・ 平たん状	ローラー
		・ 砂肌状	吹付け

・ 外装厚塗りCの上塗り材がセメントスタッコ以外の場合
材所要量 (kg/m²)

(4.7.2) (4.7.1)

マスチック塗料塗り ・ A種 ・ B種
仕上塗り ()

- (表4.2.5)
- (4.6.3)
- (4.6.4)
- ④ モルタル塗り (6.15.3)
- ⑤ タイル張り (6.16.2) (6.16.3)
- (6.16.3)(b)(1)

(表4.2.5) 複層仕上塗りの上塗り材の種類

樹脂種類	溶剤種類	外観
・ アクリル系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 艶有 ・ 艶無
・ シリカ系	・ 水系	・ 艶無
・ ポリウレタン系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 艶有 ・ 艶無
④ アクリルシリコン系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 艶有 ・ 艶無 ・ 艶有 ・ 艶無
・ ふっ素系	・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック ・ 艶有 ・ 艶無

(注) 艶無及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。

(4.6.3) 既存塗膜等の除去及び下地処理

工法	処理範囲
・ サンダー工法	
・ 高圧水洗工法	
・ 塗膜はく離工法	
・ 水洗工法	
・ デッキブラシ	
⑤ 高圧ポンプ	

(4.6.4) 下地調整
・ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ()

④ モルタル塗り (6.15.3)
既製目地材 ・ 使用する (形状:)
床の目地 ・ 図示 (図面番号:)

⑤ タイル張り (6.16.2) (6.16.3)
伸縮調整目地
位置 ・ 図示 (図面番号:)

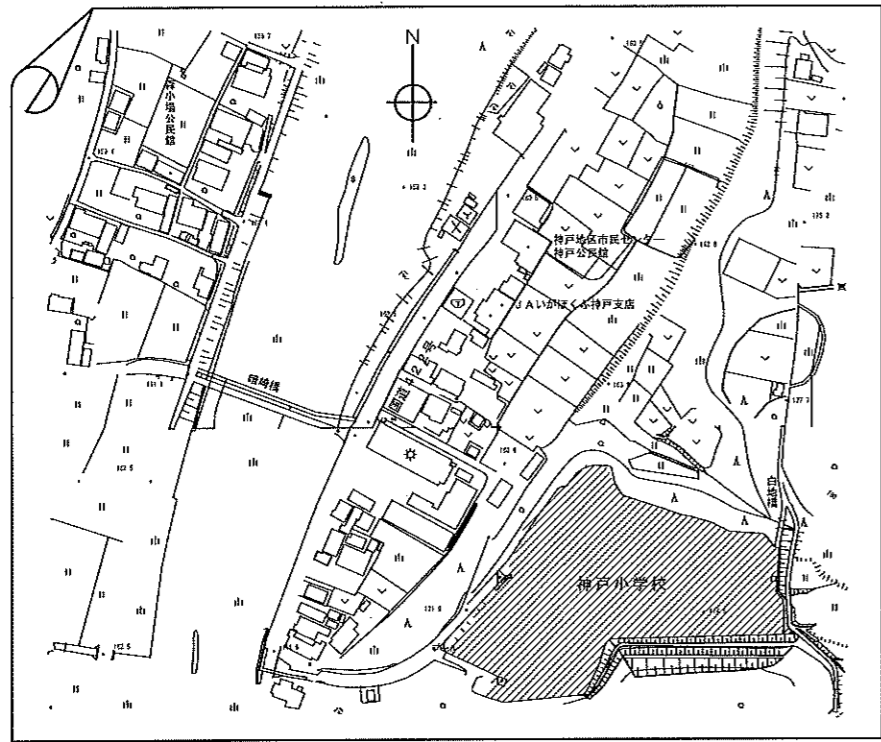
タイルの種類

施工箇所	形状寸法	工法	用途による区分	すべり抵抗性	区分			役物	標準・特注色	耐凍害性有無
					I類(組積)	II類(せつ器)	III類(陶器)			
手洗いシンク	25角				○			○		○

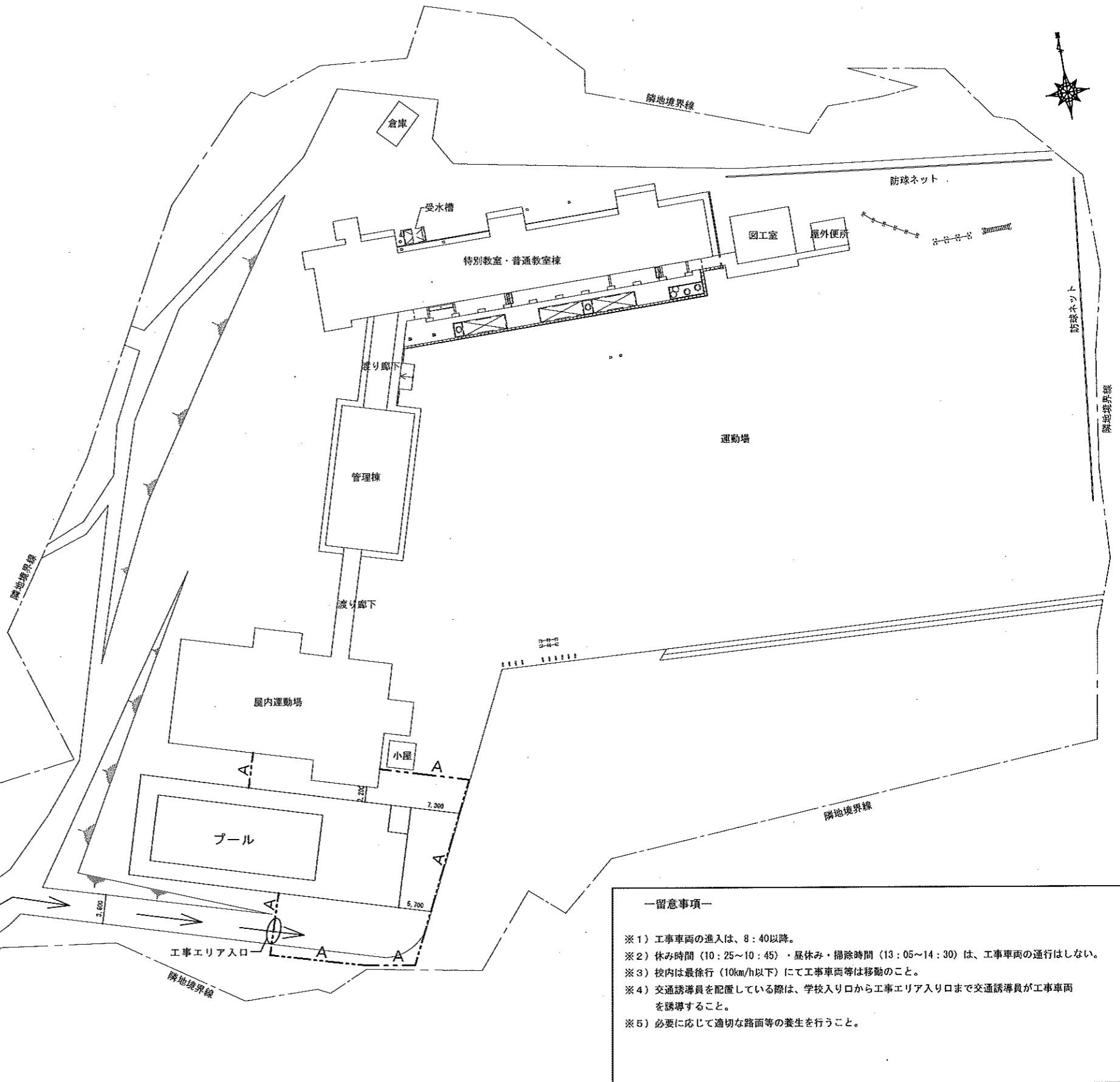
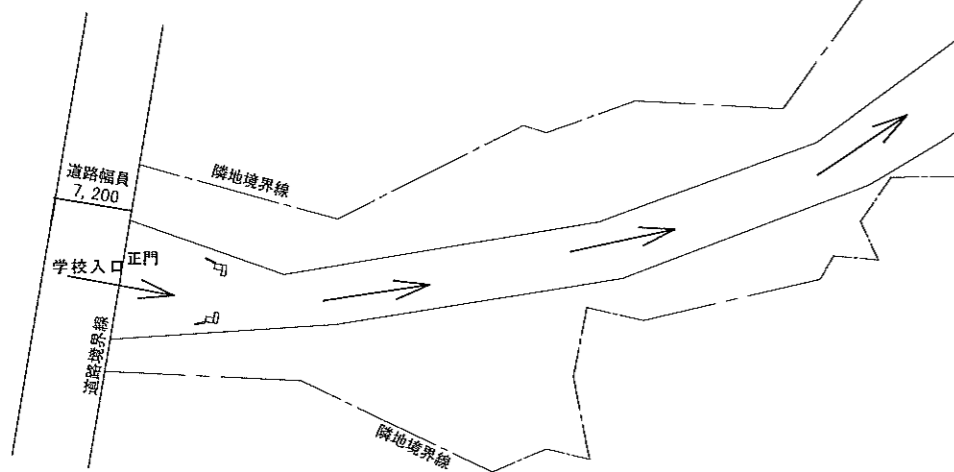
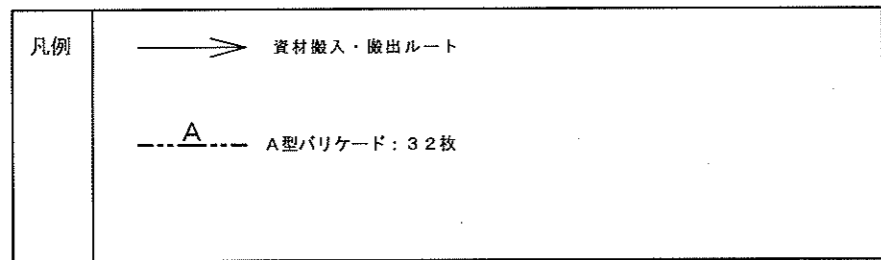
試験張り ・ 行う ・ 行わない
見本焼き ・ 行う ・ 行わない

7 塗装改修工事	1 材料 (7.1.3)(b)	・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)
	2 下地調整 (7.2.1~7.2.7) (表7.2.1)~ (表7.2.7)	既存塗膜の除去範囲(塗り替えでR/B種の場合) ・ 図示(図面番号:)
	3 錆止め塗料塗り (7.3.2) (7.3.3) (表7.3.3)~ (表7.3.4)	錆止め塗料種別 ・ 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 錆止め塗料塗り種別 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種
	4 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) (7.4.2) (7.4.3~7.4.5) (表7.4.1)~ (表7.4.3)	塗料種別 ・ 1種 ・ () 種別 下地 ・ 木部 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種
	5 クリヤラッカー塗り(CL) (7.5.2) (表7.5.1)	種別 木部 ・ A種 ・ B種
	6 アクリル樹脂系非水分散形塗料(MAD) (7.7.2) (表7.7.1)	種別 ・ A種 ・ B種
	7 耐候性塗料塗り(OP) (7.8.2)~ (7.8.4) (表7.8.1)~ (表7.8.3)	上塗り等級 ・ 1級(フッ素系) ・ 2級(シリコン系) ・ 3級(ポリウレタン系) 種別 下地 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 亜鉛めっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 コンクリート面及び 押出成形セメント板面 ・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種
	8 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-0) (7.9.2)~(7.9.5) (表7.9.1)~ (表7.9.4)	種別 下地 コンクリート、モルタル、 プラスター、せっこうボード、 その他ボード面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め() 木部(屋内) 鉄鋼面(屋内) 亜鉛めっき鋼面(屋内) ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ A種 ・ B種 ・ C種
	9 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP) (7.10.2) (表7.10.1)	種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め()
	10 合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-1) (7.11.2) (表7.11.1)	種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種
	11 ウレタン樹脂ワニス塗り(WU) (7.12.2) (表7.12.1)	種別 ・ A種 ・ B種
	12 ラッカーエナメル塗り(LE) (7.13.2) (表7.13.1)	種別 ・ A種 ・ B種
	13 木造保護塗料塗り(MP) (7.15.2) (表7.15.1)	種別 ・ A種 ・ B種

8 の 5 耐震改修工事 あと施工アンカー工事	(あと施工アンカー)	種類 ① 金属系 セットの方式 ② 木体打込み式 (・ 改良型 ③ 従来型) 径及び埋込み深さ ・ 図示(図面番号:) 引張耐力 ・ 図示(図面番号:) せん断耐力 ・ 図示(図面番号:) 接合筋の種類・径・長さ ④ 図示(図面番号:) ・ 接着系 カプセル型回転 ・ 打撃式 ・ 有機系 ・ 無機系 径及び埋込み深さ ・ 図示(図面番号:) 引張耐力 ・ 図示(図面番号:) せん断耐力 ・ 図示(図面番号:) アンカー筋の種類 ・ 図示(図面番号:) アンカー筋の新設壁内への定着長さ ・ 図示(図面番号:) あと施工アンカーの性能確認試験 ・ 行う ・ 行わない
	① あと施工アンカーの材料 (8.2.4) (表8.2.2)	
② あと施工アンカーの施工 (8.12.2) (8.12.4) (8.12.5)	穿孔 埋込み配管等の埋入の方法 ① 鉄筋探知機(金属探知機)により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 ・ はつり出しによる。 ・ () あと施工アンカーの施工確認試験 ③ 実施する ・ 実施しない 確認試験方法 ④ 改修標準仕様書(8.12.5)による ・ () 確認強度 ・ ()	
(場所打ちコンクリート壁の増設工事) 3 シアコネクタ	場所打ちコンクリート壁の打増部に用いる既存部とのシアコネクタ 種類 ・ 金属系あと施工アンカーの異形差筋アンカー ・ 接着系あと施工アンカーの異形差筋アンカー 径[mm] ・ D10 長さ[mm] ・ 増打壁厚-40 ・ () 埋込み深さ[mm] ・ 5d (d: シアコネクタの径)以上 ・ () 間隔[mm] ・ 500×500 シアコネクタとセパレーターの兼用 ・ 兼用してもよい ・ 兼用しない ・ ()	



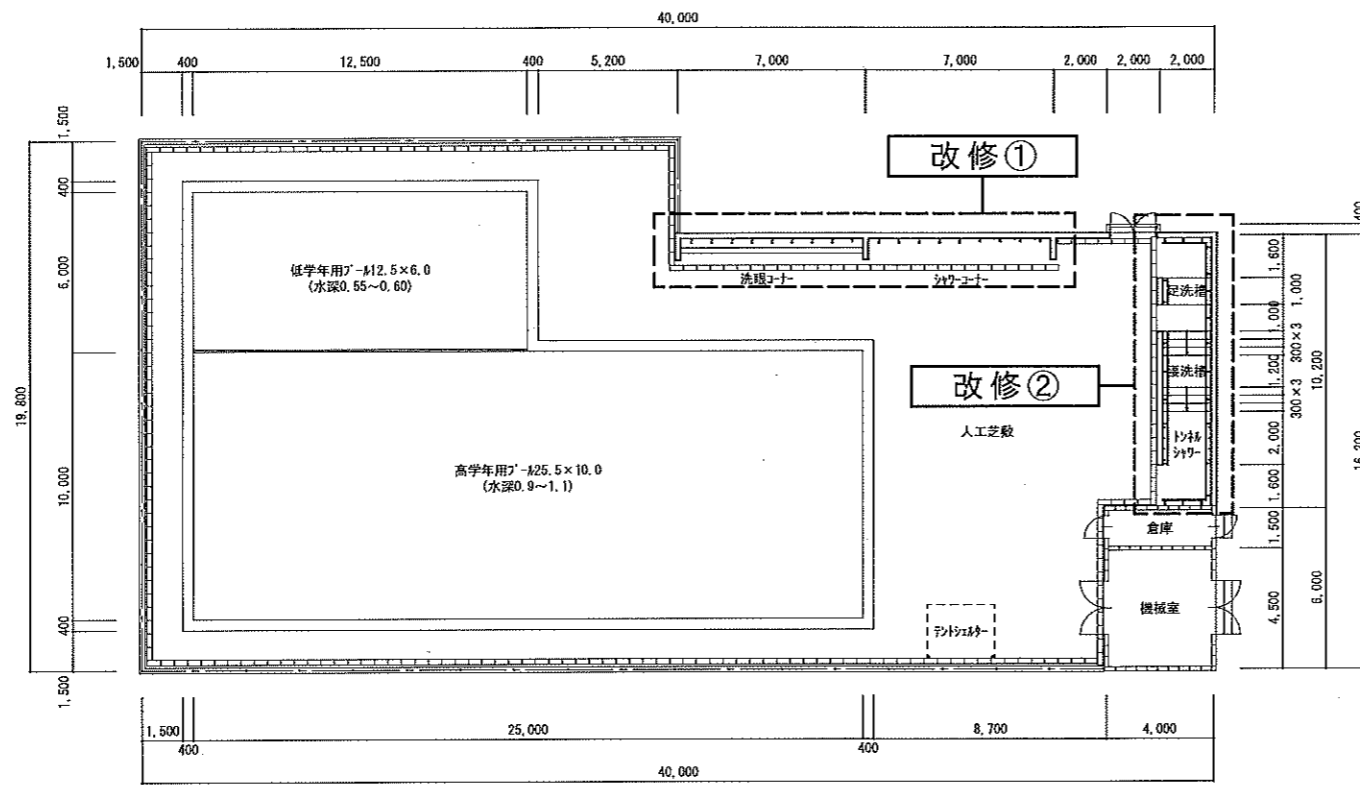
付近見取図



配置図兼仮設計計画図 S=1/500

- 留意事項—
- ※1) 工事車両の進入は、8:40以降。
 - ※2) 休み時間(10:25~10:45)・昼休み・掃除時間(13:05~14:30)は、工事車両の通行はしない。
 - ※3) 校内は最徐行(10km/h以下)にて工事車両等は移動のこと。
 - ※4) 交通誘導員を配置している際は、学校入り口から工事エリア入り口まで交通誘導員が工事車両を誘導すること。
 - ※5) 必要に応じて適切な路面等の養生を行うこと。

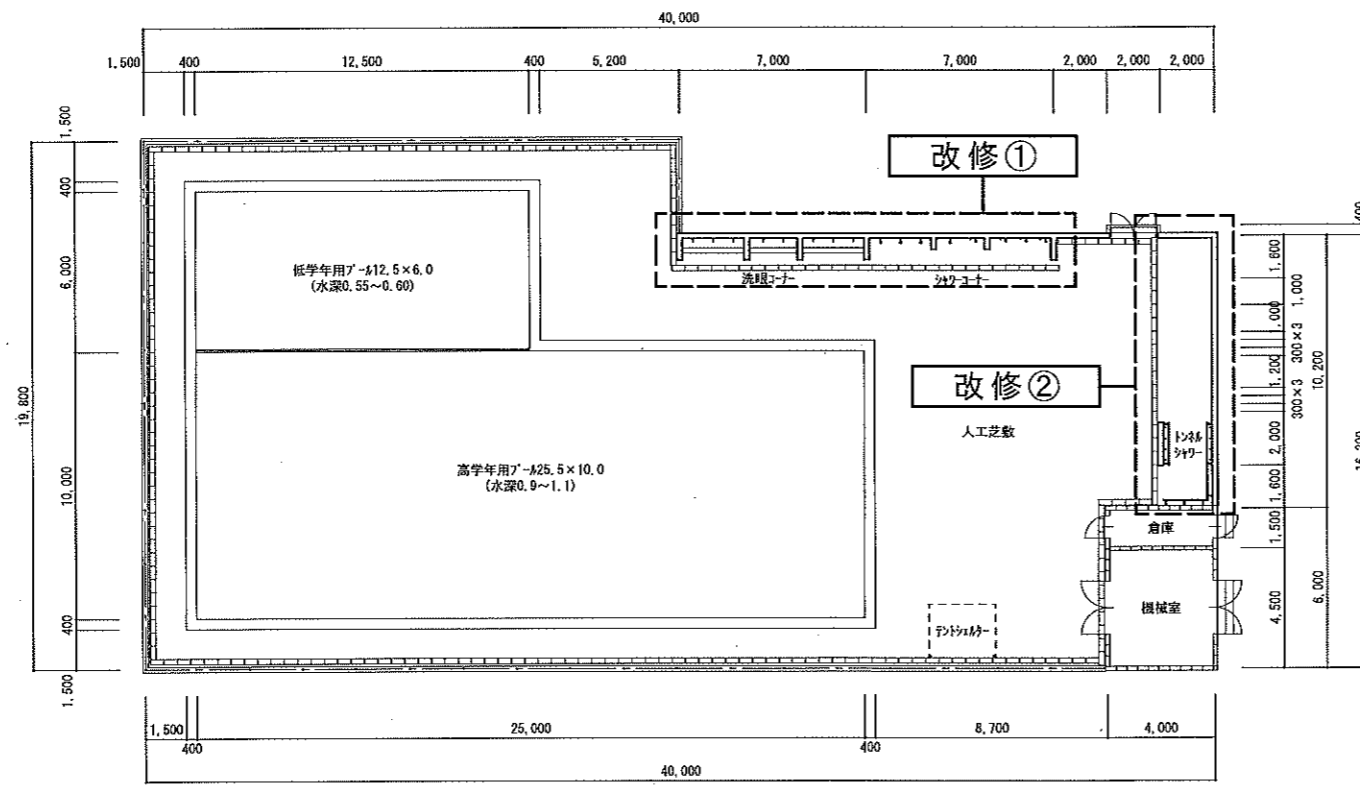
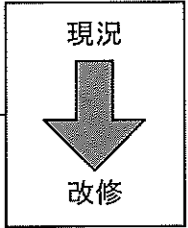
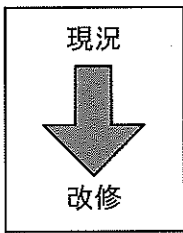
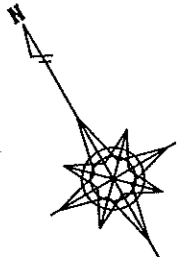
特記	工事名 成和東小学校他2校プール施設改修工事			承認	管理建築士	印
	図名 (神戸小学校)配置図兼仮設計計画図	縮尺 1/500 (A2)	図面番号 A-04	図面提出日		



現況平面図 S = 1 / 200

撤去概要

- ・改修範囲内の既存ブロック塀の撤去。
- ・シャワー・手洗い・眼洗い・手摺の撤去。
- ・控え壁の新設に伴う土間コンクリートの撤去。

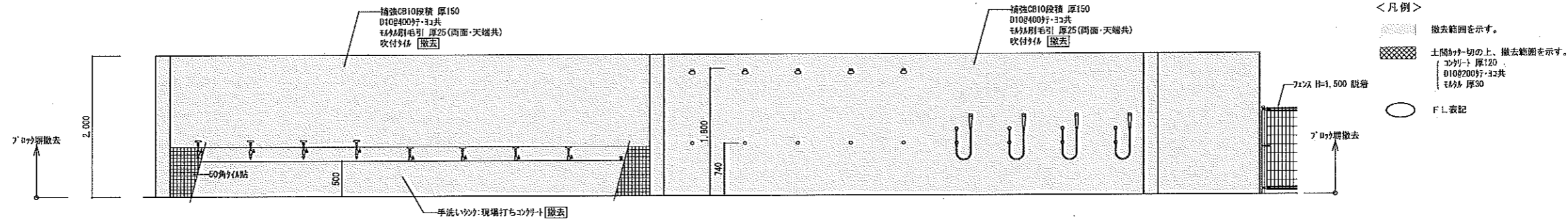
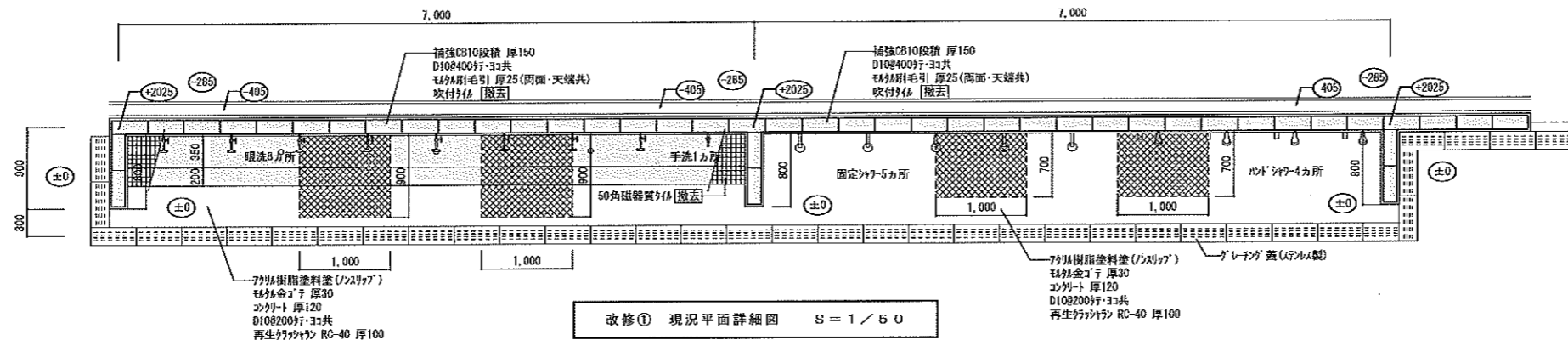


改修平面図 S = 1 / 200

改修概要

- ・改修範囲内の既存ブロック塀の新設
- ・シャワー・手洗い・手摺の新設。
- ・控え壁の新設と、それに伴う土間コンクリートの復旧。
- ・腰洗い槽・足洗い槽の埋め戻し。

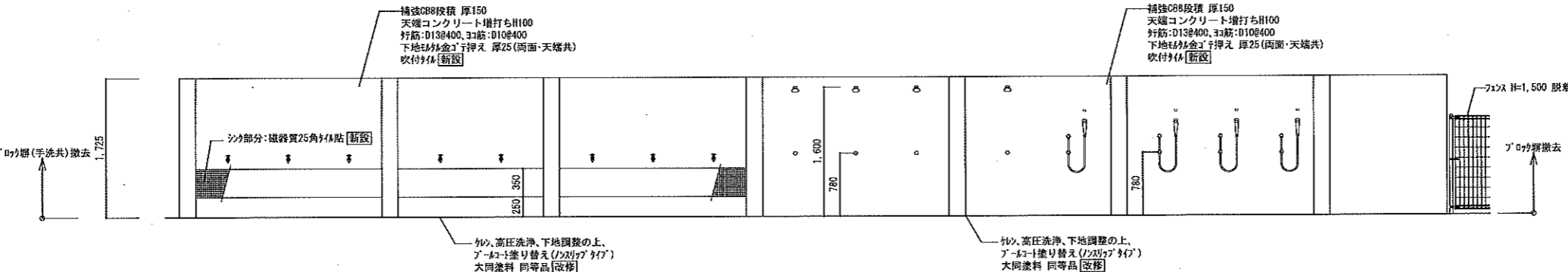
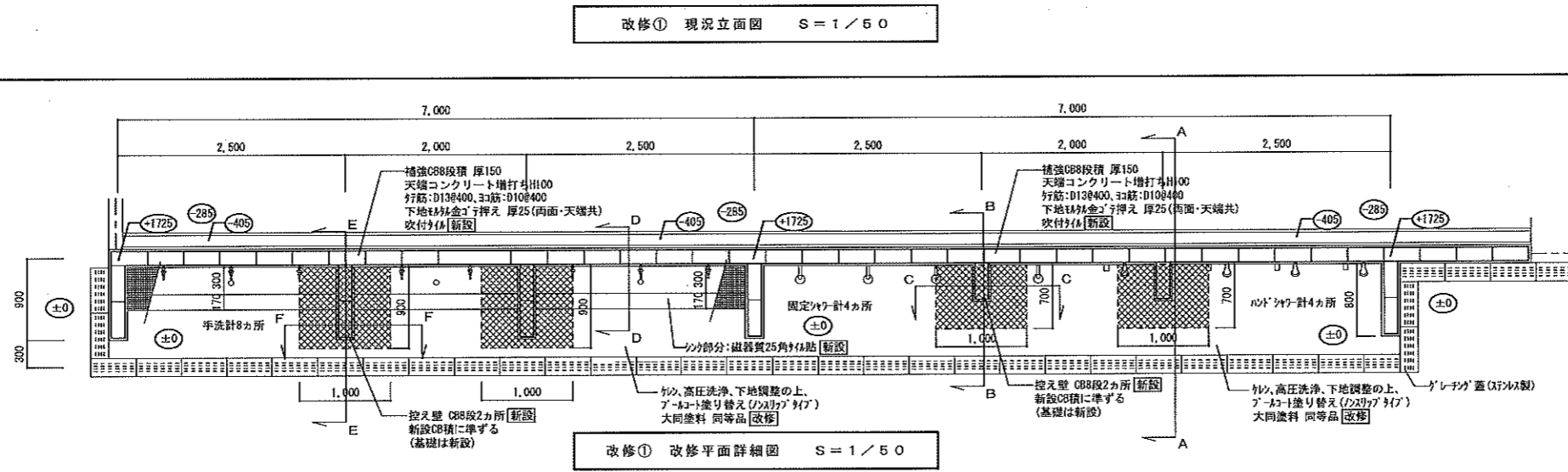
特記	工事名 成和東小学校他2校プール施設改修工事			承認	管理建築士	印
	図名 (神戸小学校) 平面図	縮尺 1/200 (A2)	図面番号 A-05			
				図面提出日		



<凡例>
 [Hatched pattern] 撤去範囲を示す。
 [Cross-hatched pattern] 土間部分一切の上、撤去範囲を示す。
 [Concrete symbol] コンクリート 厚120
 [Reinforcement symbol] D108200打・30共
 [Reinforcement symbol] マルマ 厚30
 [Circle symbol] F.L.表記

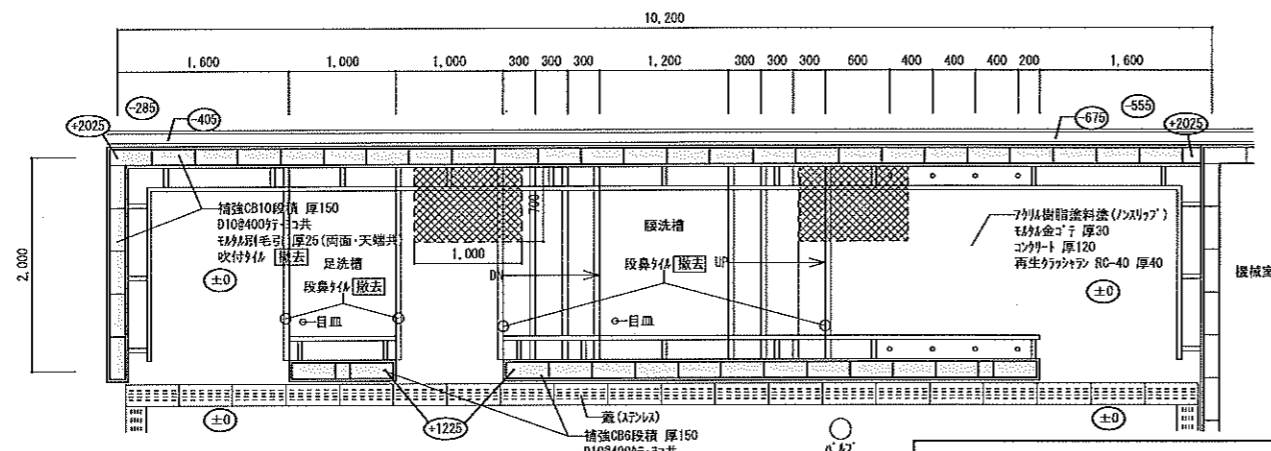
現況
↓
改修

現況
↓
改修



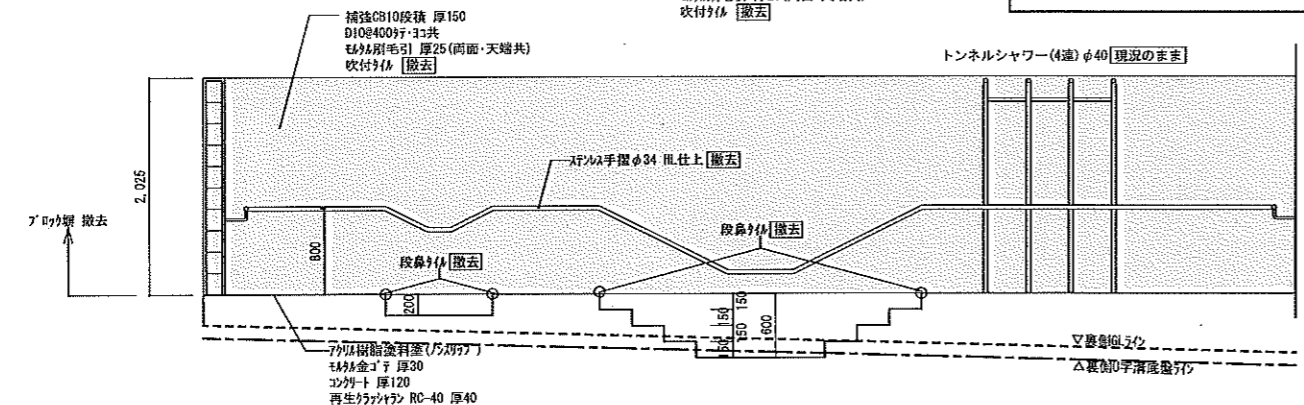
<凡例>
 [Hatched pattern] 土間撤去範囲を示す。
 [Concrete symbol] コンクリート 厚120
 [Reinforcement symbol] D108250打・30共
 [Reinforcement symbol] マルマ 厚30
 [Reinforcement symbol] 777樹脂塗料塗 (ノリツブ) :大同塗料 同等品
 [Circle symbol] F.L.表記

特記	工事名	成和東小学校他2校プール施設改修工事			承認	管理建築士	印
	図名	(神戸小学校) 平面詳細図・立面図 1	縮尺	1/50 (A2)			
	図面発行日						

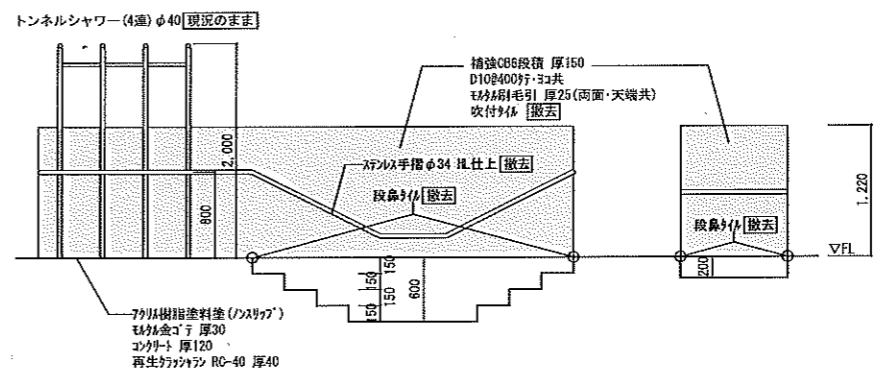


- <凡例>
- 撤去範囲を示す。
 - 土間仕上げの上、撤去範囲を示す。
コンクリート厚120
D1082009行・30共
モルタル厚30
 - 段鼻付体撤去を示す。(最上段のみ)
 - F.L.表記

改修② 現況平面詳細図 S=1/50



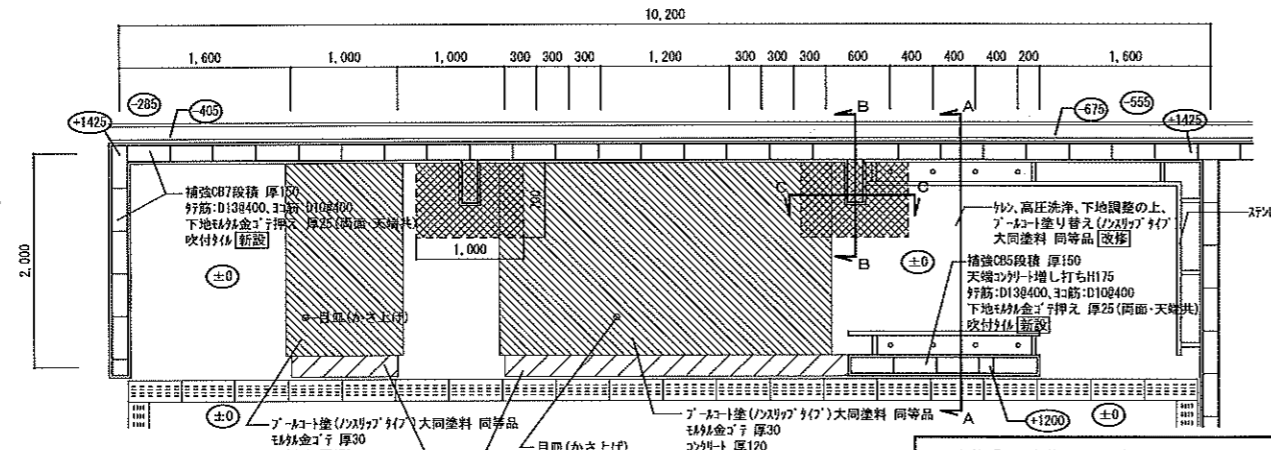
改修② 現況立面図 S=1/50



改修② 改修立面図 S=1/50

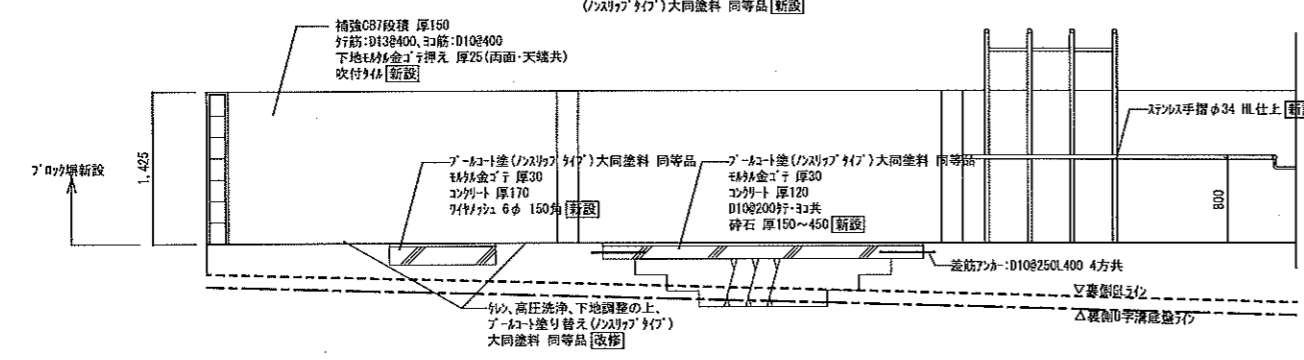
現況
↓
改修

現況
↓
改修

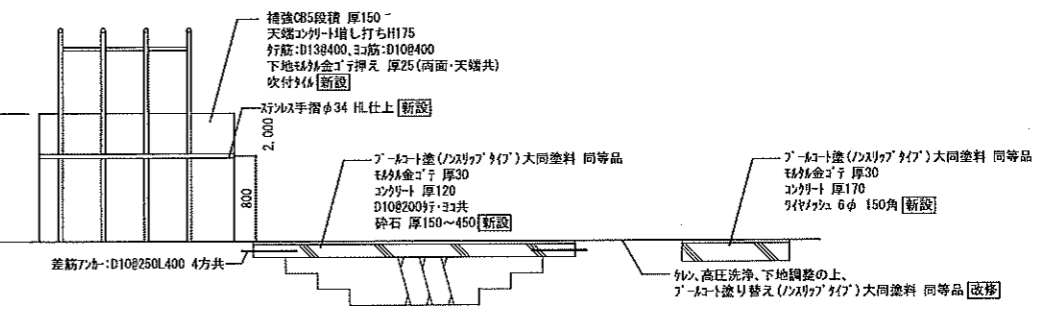


- <凡例>
- 増設し範囲を示す。
 - 土間復旧範囲を示す。
コンクリート厚120
D1082509行・30共
モルタル厚30
 - モルタル厚30の上、ブーコート塗(ノリ剤タイプ):大同塗料 同等品
 - F.L.表記

改修② 改修平面詳細図 S=1/50

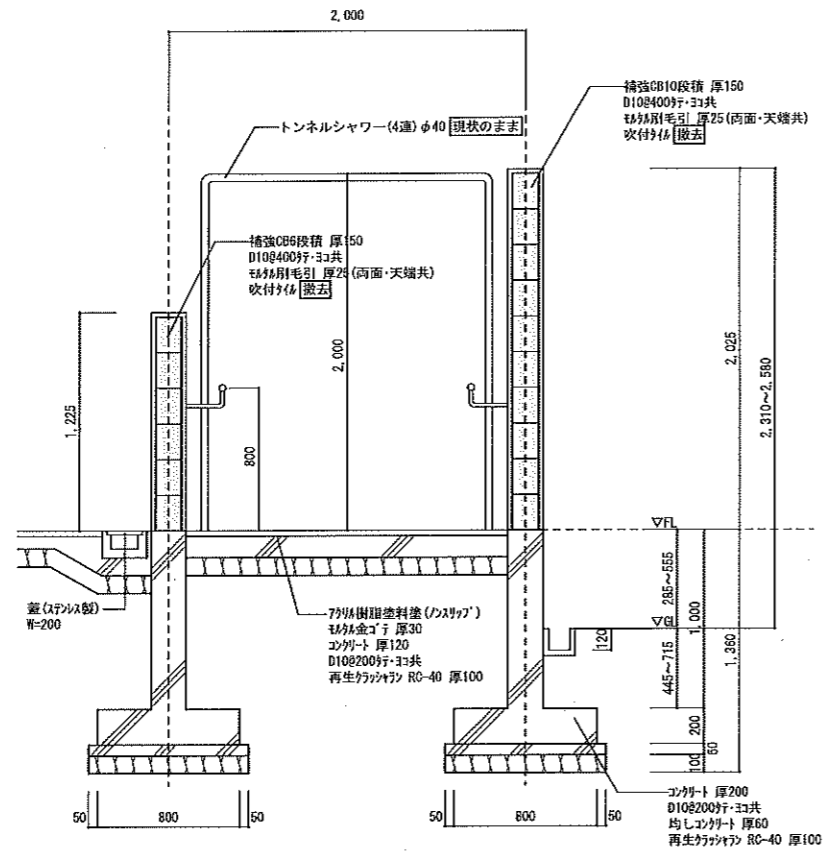


改修② 改修立面図 S=1/50



改修② 改修立面図 S=1/50

特記	工事名 成和東小学校他2校プール施設改修工事	図名 (神戸小学校)平面詳細図・立面図2	縮尺 1/50 (A2)	図面番号 A-07	承認	管理建築士	印
					図面提出日		

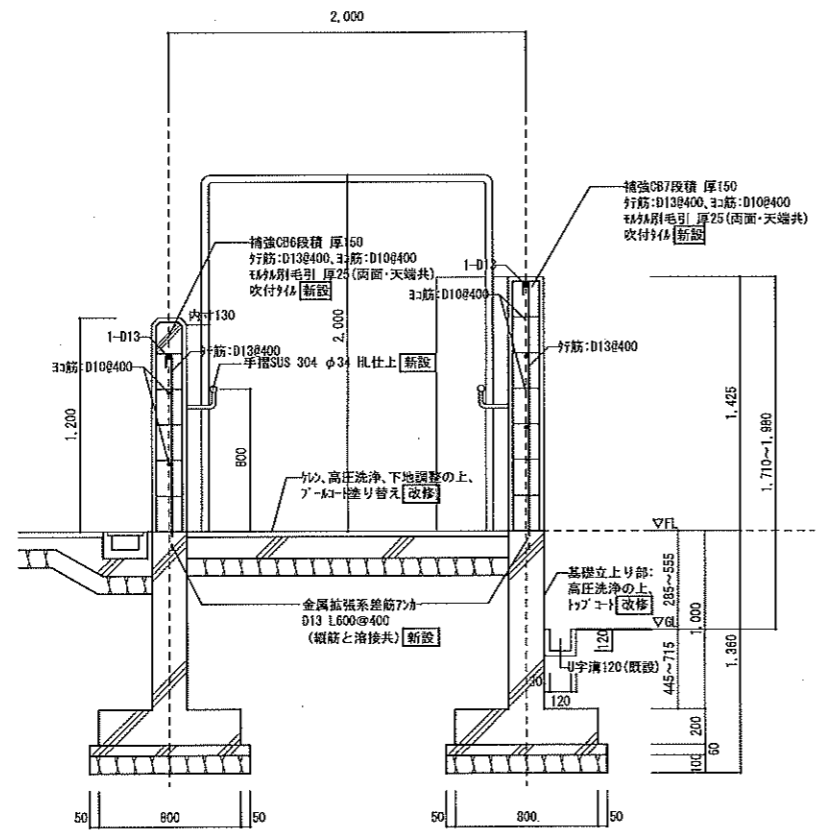


<凡例>
 撤去範囲を示す。

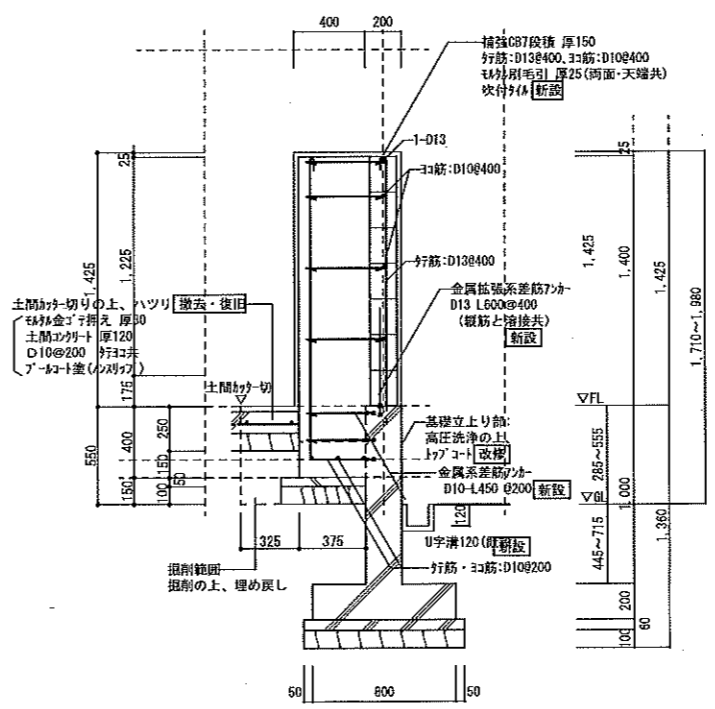
改修② 現況断面詳細図 S=1/30

現況
 ↓
 改修

現況
 ↓
 改修



改修② 改修断面詳細図 S=1/30



A部控え壁断面詳細図

特記 ※金属拡張系鉄筋7かとCR積の縦筋は溶接接合とする。 ※ア-コート塗(ノスリツグイア)は、大同塗料 同等品とする。	工事名 成和東小学校他2校プール施設改修工事	承認 _____ 管理建築士 甲
	図名 (神戸小学校) 断面詳細図 2	図尺 1/30 (A2)
図面提出日 _____		

図示記号

記号	名称
—————	給水管
—————	排水管
⊗	給水栓
⊕ ⊗ ⊙	井類
⊖	床上掃除口
⊗	排水金物

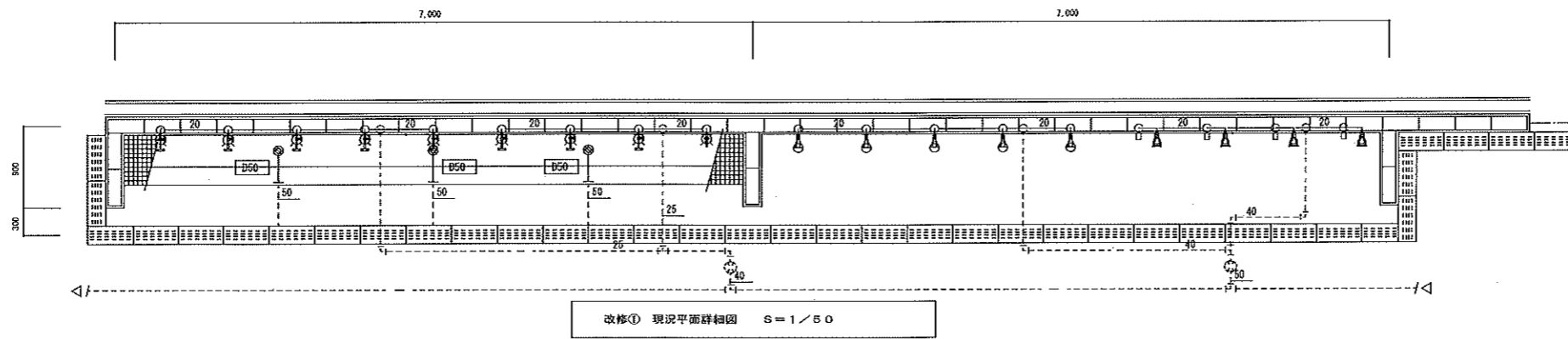
衛生器具表

名称	品番	附属品	数量	単位
横水栓	LF-7R-13	吐水口回転形	8	8
固定シャワー	BF-4R	BF-2S-13(埋込形止水栓)	4	4
ハンドシャワー	BF-305A	BF-2S-13(埋込形止水栓)・BF-30R(フックx2ヶ)	4	4

*衛生器具型番は参考とし、監督員の指示(器具の調整等)に従うものとする。

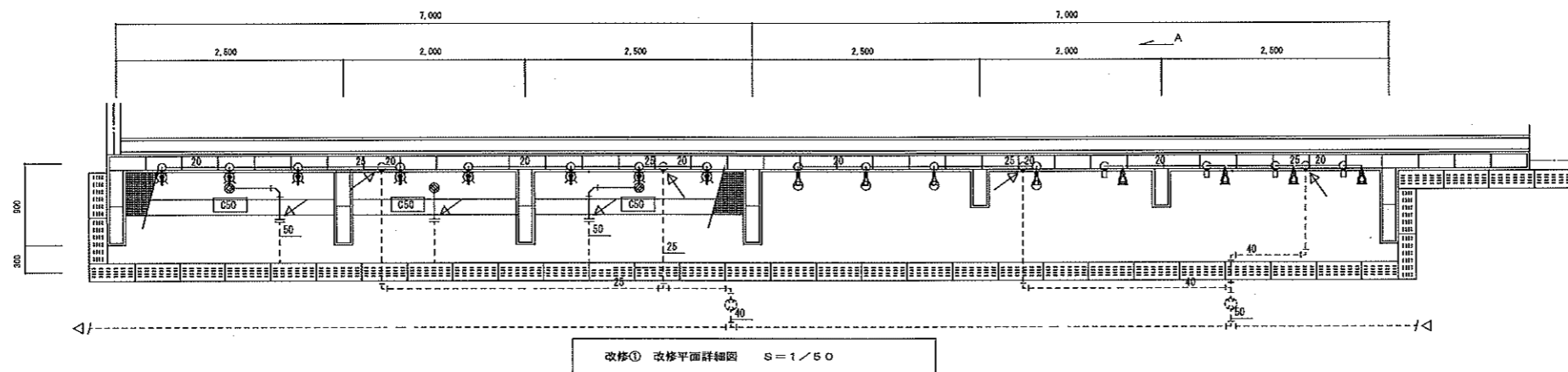
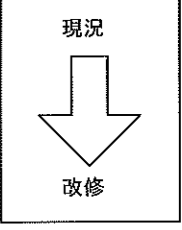
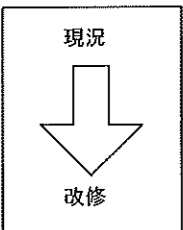
凡例	
——	今回撤去箇所を示す
----	既存箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。
 既設埋設配管、今回工事に支障なきは既存放棄とする。
 (既設管水抜き処理の上、管末プラグ止め)
 土間及びブロックはつり撤去は建築工事とする。



外部 既存機器表

単水栓	1	撤去
洗面水栓	8	撤去
シャワー水栓	9	撤去



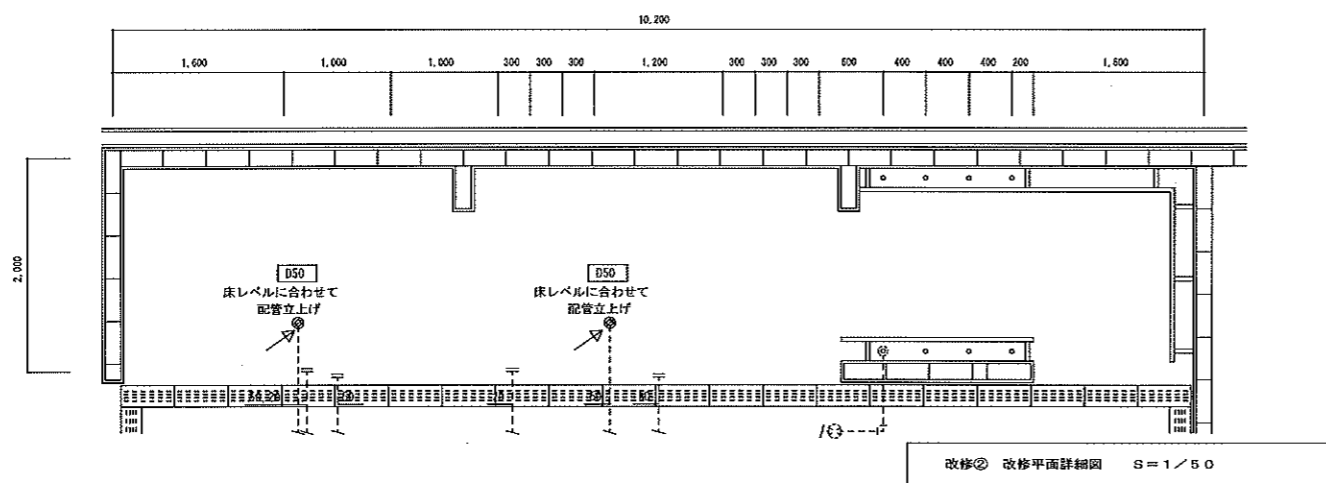
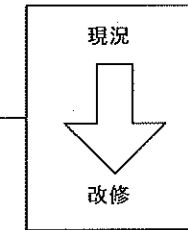
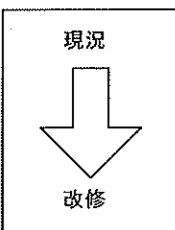
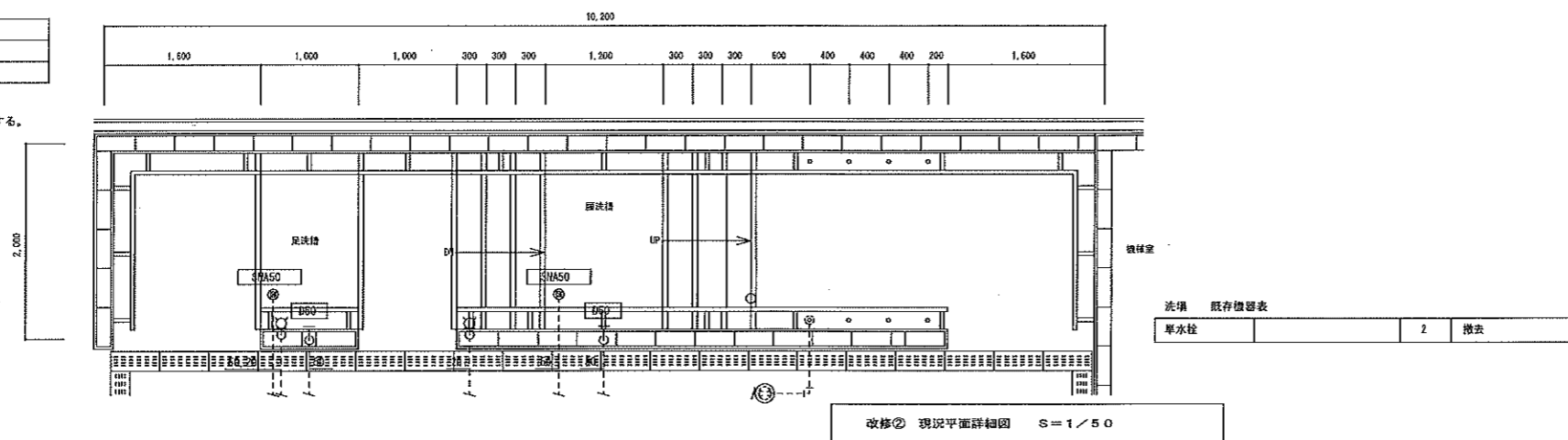
凡例	
——	今回改修箇所を示す
----	既存箇所を示す
↗	既設接続箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。
 土間及びブロックはつり撤去は建築工事とする。

特記	工事名 成和東小学校他2校プール施設改修工事			単位	1/50 (A2)	図面番号	M-03	東 監			管理棟係士	印
	図名 (神戸小学校) 平面詳細図① 給排水衛生設備							図面番号				

凡例	今回撤去箇所を示す
	既存箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。
 既設埋設配管、今回工事に支障なきは既存放棄とする。
 (既設管水抜き処理の上、管末プラグ止め)
 土間及びブロックはつり撤去は建築工事とする。



凡例	今回改修箇所を示す
	既存箇所を示す
	既設接続箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。
 土間及びブロック復旧は建築工事とする。

科目	工事名 成和家小学校他2校プール施設改修工事			業種		管理建築士	印
	図名 (神戸小学校) 平面詳細図② 給排水衛生設備	縮尺 1/50 (A2)	図号 M-04	業種			
				製図者			
				製図日			